

災害対応の実態
聞き取り調査

区長アンケートおよび 民生委員・児童委員アンケート

分析集

延岡市 総務部 危機管理課

4

目次

■ 区長アンケートおよび民生委員・児童委員アンケート 分析集

- 区長アンケートおよび民生委員・児童委員アンケートの「問1」から順に掲載
- 比較可能な設問については、比較できるようにスライドを並べて掲載。
設問によっては、市民アンケートとの比較も

◆ 総括	4
◆ アンケート調査 実施概要	5～6
◆ 設問ごとのグラフ化と、分析	
➢ 災害・防災に対する考え方（区長・問1、民生・問1）	7～10
➢ 防災広報資料の閲覧状況（区長・問2、民生・問2）	11～14
➢ 災害情報の取得手段（区長・問3、民生・問3）	15～18
➢ 台風14号時の自宅外避難の状況（区長・問4、民生・問4）	19～42
➢ 平時からの備え（区長・問5～6、民生・問5）	43～50
➢ 台風14号時の対応（区長・問7～8、民生・問6～7）	51～62
➢ 災害時の支援に関し懸念していること（区長・問9、民生・問8）	59～62
➢ 台風14号の対応に関する意見（区長・問10、民生・問10）	63～66
➢ 円滑な避難支援に向けて必要なこと（民生 問9）	67

8

アンケート分析結果

区長
アンケート

および

民生委員・児童委員
アンケート

区長
アンケート

総 括

民生委員
アンケート

比較的、全国調査と類似の傾向（市民(り災証明書発行者)アンケートの回答傾向とは異なる）

※ 調査対象者は、「区長」「民生委員児童委員」の属性で選定したため、必ずしも災害リスクを有している場所にお住まいの方ではないことに留意。（罹災証明書発行者ほどの「自宅外避難率」が高くなる要因を有した母集団ではなかった。）

■ 災害・防災の考え方 【区長民生問1、区長民生問4-ア・イ、区長民生問6】

- ◆ 全国調査より**高い**結果（どちらも同様の傾向）
 - 市民(り災証明書発行者)アンケート結果よりは低い傾向

■ 災害情報の活用状況や情報取得経路 【区長民生問2、区長民生問3】

- ◆ 市民アンケートと比較して、**行政の情報を活用する傾向**（どちらも同様の傾向）
 - 日頃から行政からの情報に目を通してしている役柄のため、災害時(災害情報の取得経路や、避難のきっかけ)にも活用された、と推察。

■ 対応行動 【区長民生問4】

- ◆ 全国調査より**少し高い**結果（どちらも同様の傾向）

■ 避難支援【区長問5 問7 問9、 民生問5 問7】

- ◆ **様々取り組めているが、しかし、不安に思っていることもある。**
- ◆ 不安に思っていることで最も多かったのは「**避難支援開始の適切なタイミングの見極め**」
 - アンケート回答者の多くが「自宅外避難」しない人たち(災害リスクにない場所にお住まいの方々)で、その対応について考えたことがない、などが背景にあり、避難支援というより、そもそも「避難」そのものの見極めに自信がないことに由来すると推察。

実施日	2023年（令和5年） 05月08日（月）～05月31日（水）
調査対象	延岡市内の区長
調査方法	配布：「市政連絡総括責任者名簿」 記載住所への調査票を郵送 回収：回答者自ら投函し、市役所への郵送
回収数	231票（配布数 387票／回収率 59.7%）
設問	問1：災害・防災に対する考え方 問2：防災広報資料の閲覧状況 問3：災害情報の取得手段 問4：台風14号時の自宅外避難の状況 問5：地区における平時の備え 問6：地区内の避難行動要支援者に関する 民生委員との情報共有状況 問7：台風14号時の区長（区）としての 情報収集状況 問8：台風14号時の区長（区）としての 活動状況 問9：区長（区）として災害時支援に関して 懸念していること 問10：台風14号発災時の対応に関する意見 （自由回答記述）

台風14号における災害対応等に関する検証委員会
災害対応の実態聞き取り票

台風接近前（2022/09/16 以前及び平常時）のあなた個人の災害に対する意識についてお聞きします。

問1. あなたの、現在の考えに当てはまる番号を1つずつ選んでください。

	当てはまる	少し 当てはまる	どちらとも いえない	あまり 当てはまら ない	当てはまら ない
1-1. 自分が住む地域で水害・土砂災害 が起こるかについて関心がある	1	2	3	4	5
1-2. 自分が住む地域で過去にどのよう な水害・土砂災害があったかを知 っている	1	2	3	4	5
1-3. 自分が住む地域でどのような災害 が起こりうるかを知っている	1	2	3	4	5
1-4. 災害や防災に関する情報を常に チェックしている	1	2	3	4	5
1-5. 水害・土砂災害時に一般にどのよ うな場所が危険かを知っている	1	2	3	4	5
1-6. 災害から自分の命は自分で守るも のだと考えている	1	2	3	4	5
1-7. 結果的に必要ではなかったとして も、避難はすべきだと考えている	1	2	3	4	5

問2. あなたの、防災に関する広報資料の閲覧状況について、お聞かせください。

2-1. ハザードマップ（当てはまるもの1つに○）
ア. ハザードマップを見たことがある
イ. ハザードマップを見たことがない

2-2. 延岡市が家の防災ハンドブック（右図参照）（当てはまるもの1つに○）
ア. ハンドブックを見たことがある
イ. ハンドブックを見たことがない

問3. あなたは、災害時、情報をどのように入手していますか？（当てはまるものを全てに○）

ア. テレビ（UMK・MRT、NHK、ケーブルメディアワイワイ等）
イ. ラジオ（AM・FM、FMのべおか等）
ウ. インターネット（最も参考にしたサイト _____ ※覚えていなければ省略OK）
エ. メール（延岡市災害情報メール、緊急連絡メール（携帯電話各社から出されるメール）等）
オ. SNS（延岡市公式フェイスブック・ライン、延岡市以外が運用するアカウントからの情報等）
カ. スマートフォンアプリ（防災のべおか、UMK、MRT、NHK等）
キ. 防災行政無線（屋外で放送されるスピーカー）
ク. 広報車（市広報車、消防団）
ケ. 家族・親戚・知人などからの情報（声掛け、電話、メール等）
コ. その他（_____）

1 / 4

実施日	2023年（令和5年） 05月10日（水）～05月31日（水）
調査対象	延岡市内の各地区の民生委員・児童委員
調査方法	配布：「令和4年度民生委員児童委員名簿」 記載住所への調査票を郵送 回収：回答者自ら投函し、市役所への郵送
回収数	167票（配布数 273票／回収率 61.2%）
設問	問1：災害・防災に対する考え方 問2：防災広報資料の閲覧状況 問3：災害情報の取得手段 問4：台風14号時の自宅外避難の状況 問5：担当地区の避難行動要支援者との 関わり状況 問6：地区内の避難行動要支援者に関する 区長との情報共有状況 問7：台風14号時の民生委員としての 避難支援の状況 問8：民生委員として災害時支援に関して 懸念していること 問9：避難行動要支援者の避難・避難支援の 円滑化に向けて必要なこと 問10：台風14号発災時の対応に関する意見 （自由回答記述）

台風14号における災害対応等に関する検証委員会
災害対応の実態聞き取り票

台風接近前（2022/09/16 以前及び平常時）のあなた個人の災害に対する意識についてお聞きします。

問1. あなたの、現在の考えに当てはまる番号を1つずつ選んでください。

	当てはまる	少し 当てはまる	どちらとも いえない	あまり 当てはまら ない	当てはまら ない
1-1. 自分が住む地域で水害・土砂災害 が起こるかについて関心がある	1	2	3	4	5
1-2. 自分が住む地域で過去にどのよう な水害・土砂災害があったかを知 っている	1	2	3	4	5
1-3. 自分が住む地域でどのような災害 が起こりうるかを知っている	1	2	3	4	5
1-4. 災害や防災に関する情報を常に チェックしている	1	2	3	4	5
1-5. 水害・土砂災害時に一般にどのよ うな場所が危険かを知っている	1	2	3	4	5
1-6. 災害から自分の命は自分で守るも のだと考えている	1	2	3	4	5
1-7. 結果的に必要ではなかったとして も、避難はすべきだと考えている	1	2	3	4	5

問2. あなたの、防災に関する広報資料の閲覧状況について、お聞かせください。

2-1. ハザードマップ（当てはまるもの1つに○）
ア. ハザードマップを見たことがある
イ. ハザードマップを見たことがない

2-2. 延岡市が家の防災ハンドブック（右図参照）（当てはまるもの1つに○）
ア. ハンドブックを見たことがある
イ. ハンドブックを見たことがない

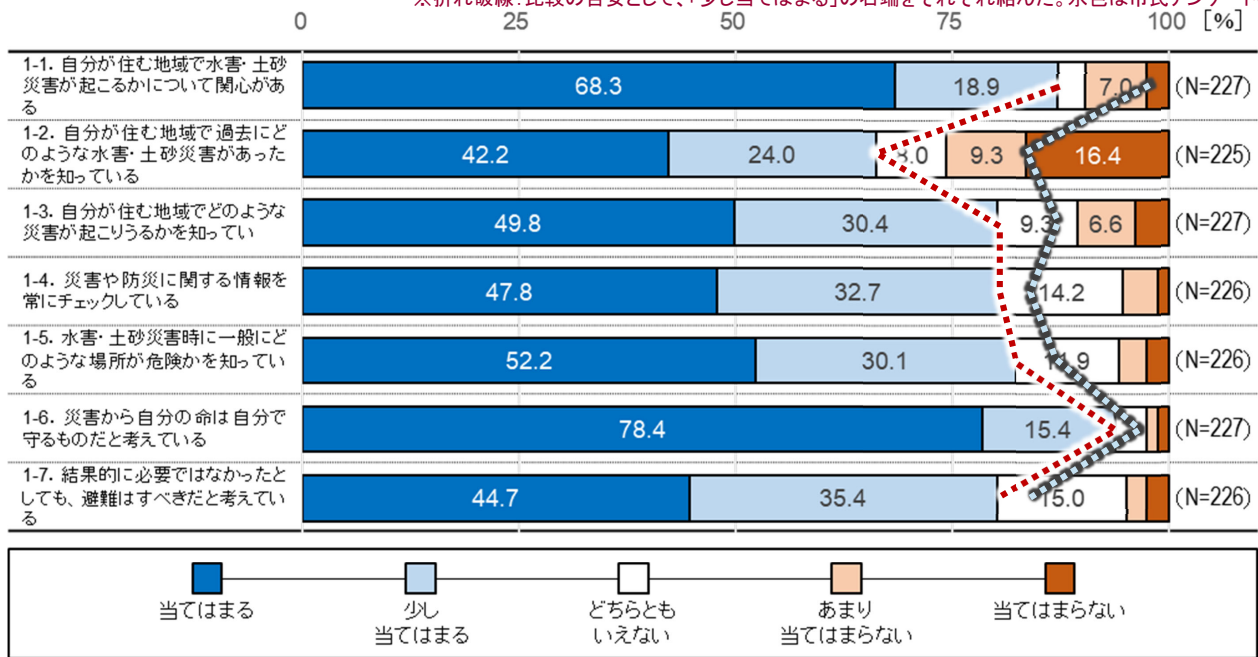
問3. あなたは、災害時、情報をどのように入手していますか？（当てはまるものを全てに○）

ア. テレビ（UMK・MRT、NHK、ケーブルメディアワイワイ等）
イ. ラジオ（AM・FM、FMのべおか等）
ウ. インターネット（最も参考にしたサイト _____ ※覚えていなければ省略OK）
エ. メール（延岡市災害情報メール、緊急連絡メール（携帯電話各社から出されるメール）等）
オ. SNS（延岡市公式フェイスブック・ライン、延岡市以外が運用するアカウントからの情報等）
カ. スマートフォンアプリ（防災のべおか、UMK、MRT、NHK等）
キ. 防災行政無線（屋外で放送されるスピーカー）
ク. 広報車（市広報車、消防団）
ケ. 家族・親戚・知人などからの情報（声掛け、電話、メール等）
コ. その他（_____）

1 / 4

問1 あなたの、現在の考えに当てはまる番号を1つずつ選んでください。

※折れ破線:比較の目安として、「少し当てはまる」の右端をそれぞれ結んだ。水色は市民アンケートの結果。

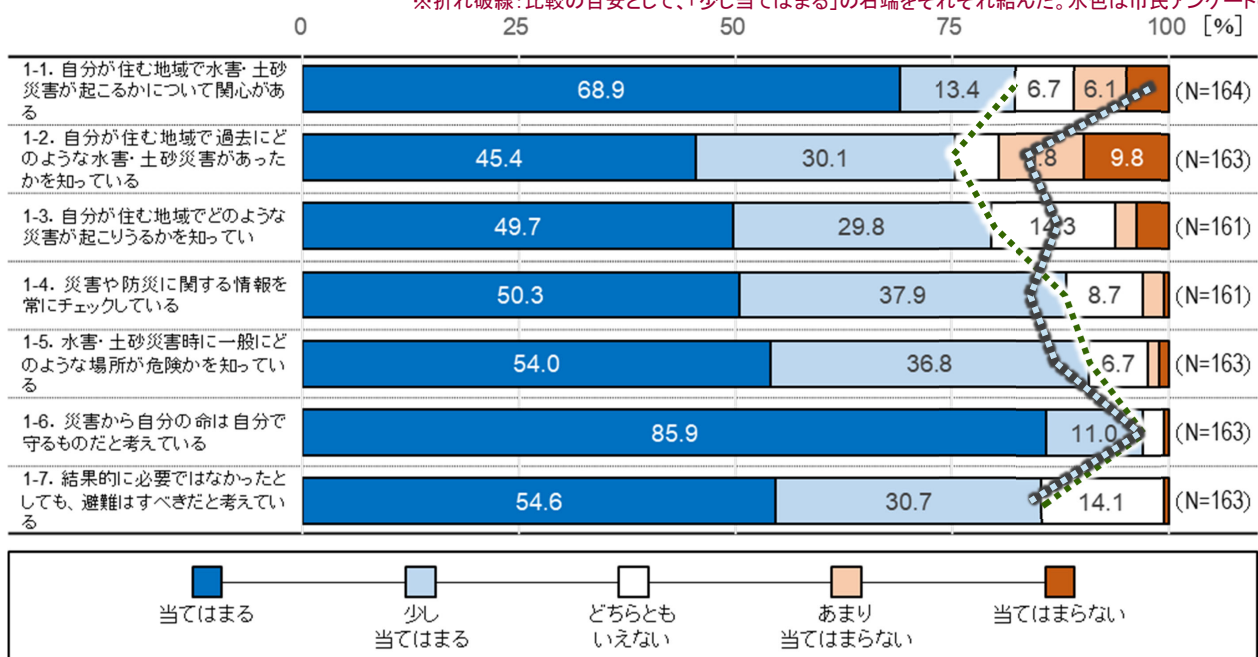


- 全体傾向 : 市民アンケートほど“高くはない”が、全国調査よりは“高い”傾向がみられる。
- 市民アンケートと比べて特に低くなっている「1-1」「1-2」
: 昔から住んでいる自宅・その周辺で「災害が起こったことがない」人にとっては、「当てはまる」と断定しづらい設問だったか？
1-1「災害＝自分と関係ないこと→関心が高いわけではない」、1-2「昔からない→設問文誤解→『当てはまらない』(1-2)」と判断？
- 市民アンケートと比べて落ち込みが少ない「1-6」「1-7」 : 延岡市で広く主体的な自助意識が醸成されつつある。

7

問1 あなたの、現在の考えに当てはまる番号を1つずつ選んでください。

※折れ破線:比較の目安として、「少し当てはまる」の右端をそれぞれ結んだ。水色は市民アンケートの結果。

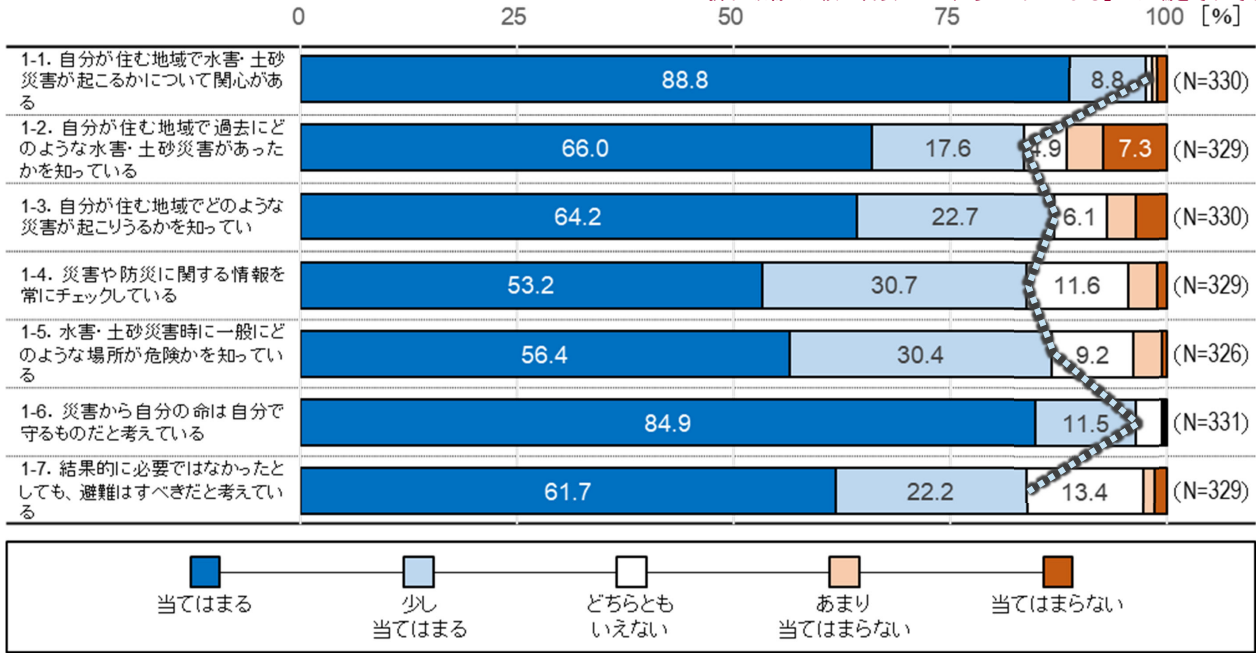


- 区長アンケートと同様の全体傾向 : 市民アンケートほど“高くはない”が、全国調査よりは“高い”傾向。
: ただし、区長アンケートよりは、ポイントが比較的高い。
- 市民アンケートよりも、「1-4」「1-5」「1-7」は高い
: 民生委員・児童委員は、厚生労働省からの委嘱といった経緯もあり、職責意識(社会福祉や援助への貢献の意識)が高くなり、地域住民の安全配慮にも関心が高まり、高いポイントとなったと推察。

8

問1 あなたの、現在の考えに当てはまる番号を1つずつ選んでください。

※折れ破線:比較の目安として、「少し当てはまる」の右端をそれぞれ結んだ

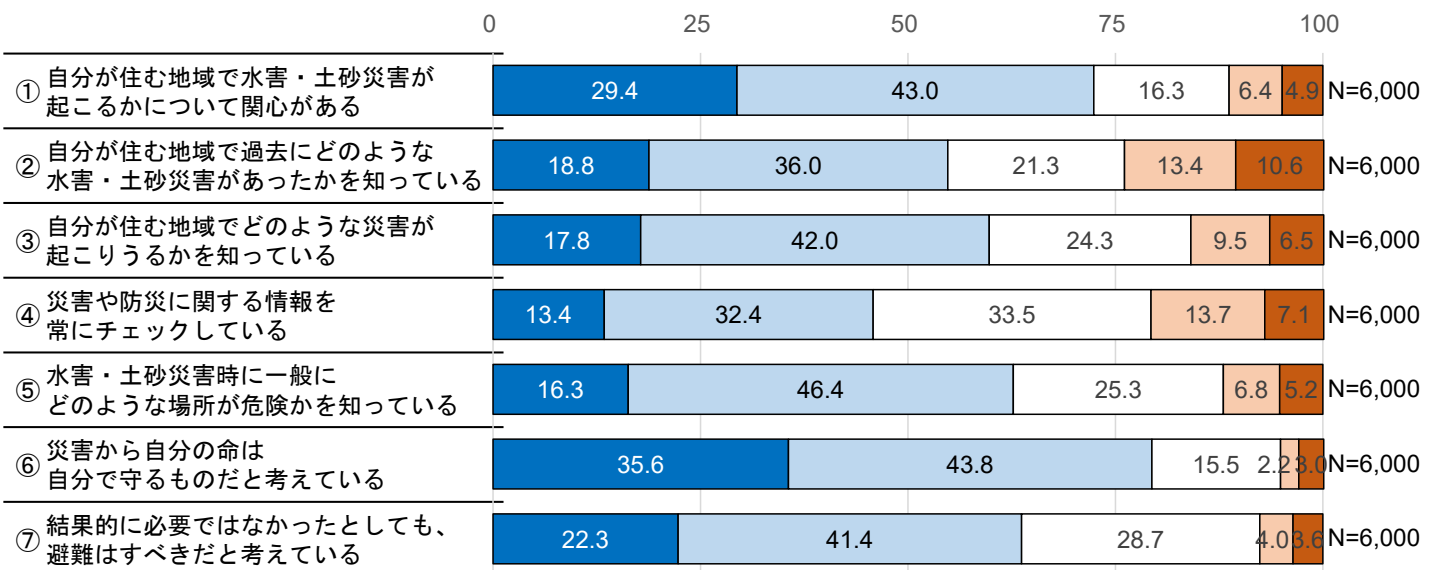


延岡市民の多くが、災害の危険性に対する関心が高く、災害から命を守ることに
対して主体的な考え・姿勢を有していることが推察される。
他調査結果(スライド8参照)と比べると、**全国水準よりも高い**といえる。

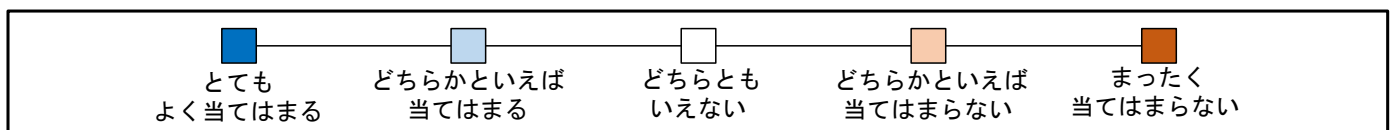
【参考】
全国調査

災害・防災に対する考え方

調査	内閣府「水害・土砂災害時の避難行動に関するアンケート」
調査手法	インターネット調査
調査エリア	令和3年もしくは令和2年に風水害によって死者が発生した自治体(計29自治体)
調査対象者	10歳代~80歳代の男女
回収数	6000サンプル
実査期間	令和4(2022)年 1月25日~2月3日

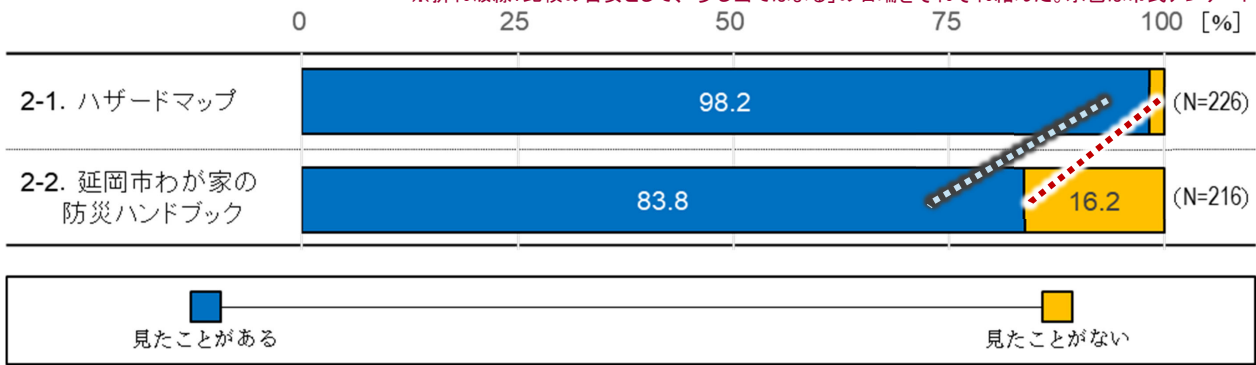


グラフ中の数値は構成比(単位:%)



問2 あなたの、防災に関する広報資料の閲覧状況について、お聞かせください。

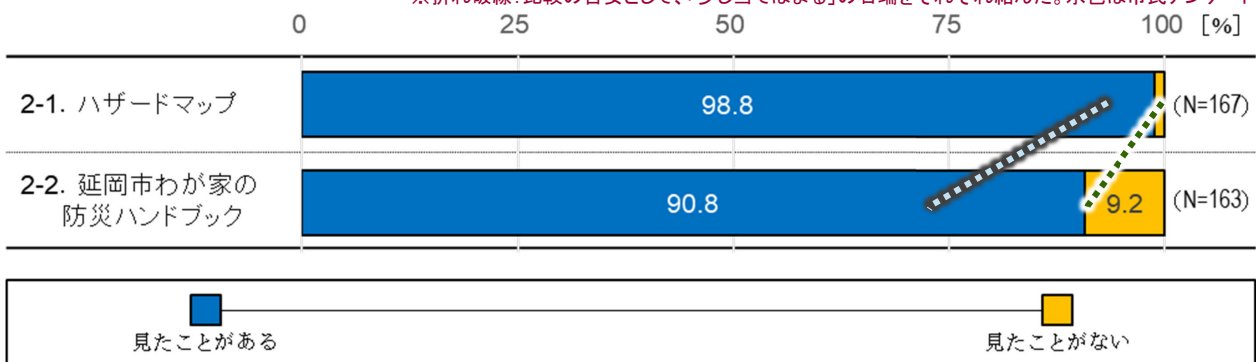
※折れ破線：比較の目安として、「少し当てはまる」の右端をそれぞれ結んだ。水色は市民アンケートの結果。



- 市民アンケートより“高い”閲覧状況
 : 一般地区住民(市民アンケート対象者)より比較的高くは、日頃から行政からの情報・配布物に触れる機会が多く、目を通すことも多くなりやすい属性であることが影響していると推察。
- ハザードマップのほうが閲覧が高いのは、発行年月の近さ(ハザードマップは令和4年度作成、ハンドブックは、令和2年度発行(令和3年度改訂))が原因と推察。

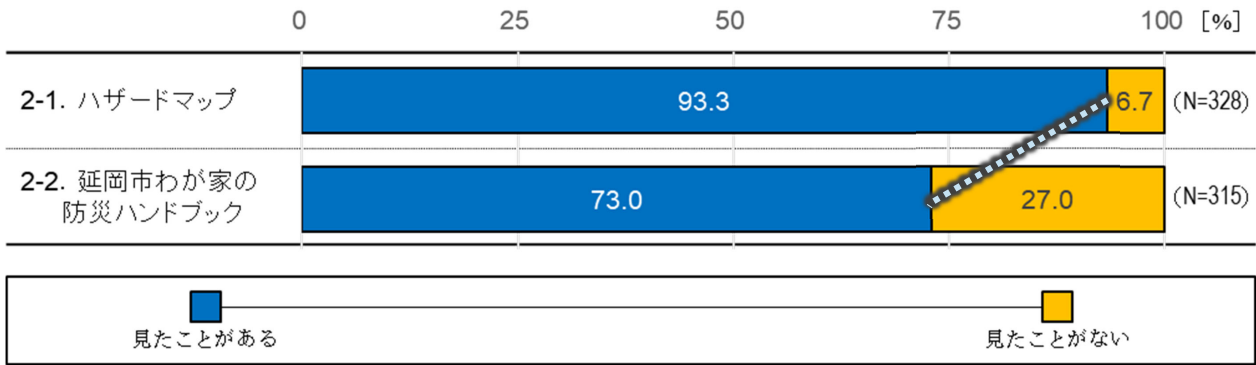
問2 あなたの、防災に関する広報資料の閲覧状況について、お聞かせください。

※折れ破線：比較の目安として、「少し当てはまる」の右端をそれぞれ結んだ。水色は市民アンケートの結果。



- 区長アンケートと同様の傾向。

問2 あなたの、防災に関する広報資料の閲覧状況について、お聞かせください。

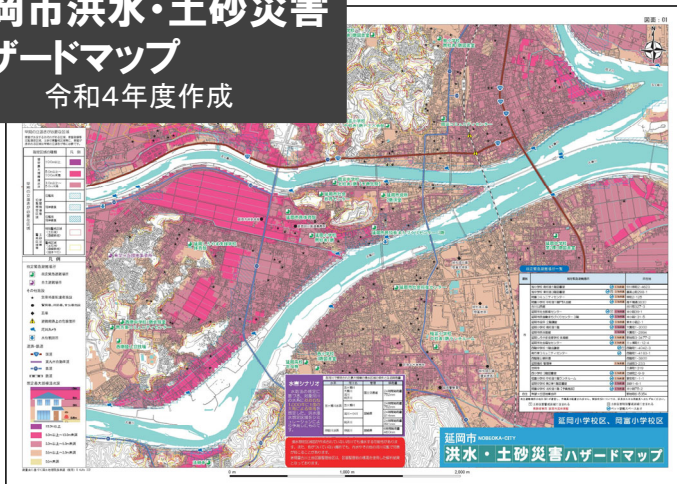


大半が防災広報資料を閲覧したことがあることがわかる。

参考

災害・防災に対する考え方

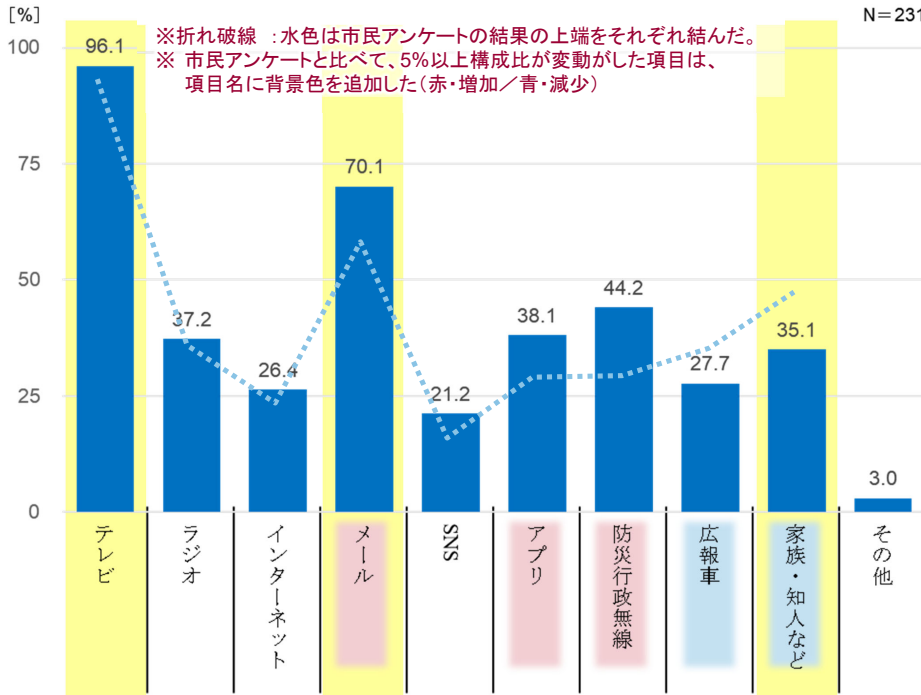
延岡市洪水・土砂災害
ハザードマップ
令和4年度作成



延岡市
わが家の防災ハンドブック
令和2年3月発行(令和3年9月改訂)

逃げどきマップ
延岡市洪水・土砂災害ハザードマップ」
完成までの間、公表(令和3年3月発行)

問3 あなたは、災害時、情報をどのように入手していますか？（当てはまるもの全てに○）



※「インターネット」で最も参考にしたサイト

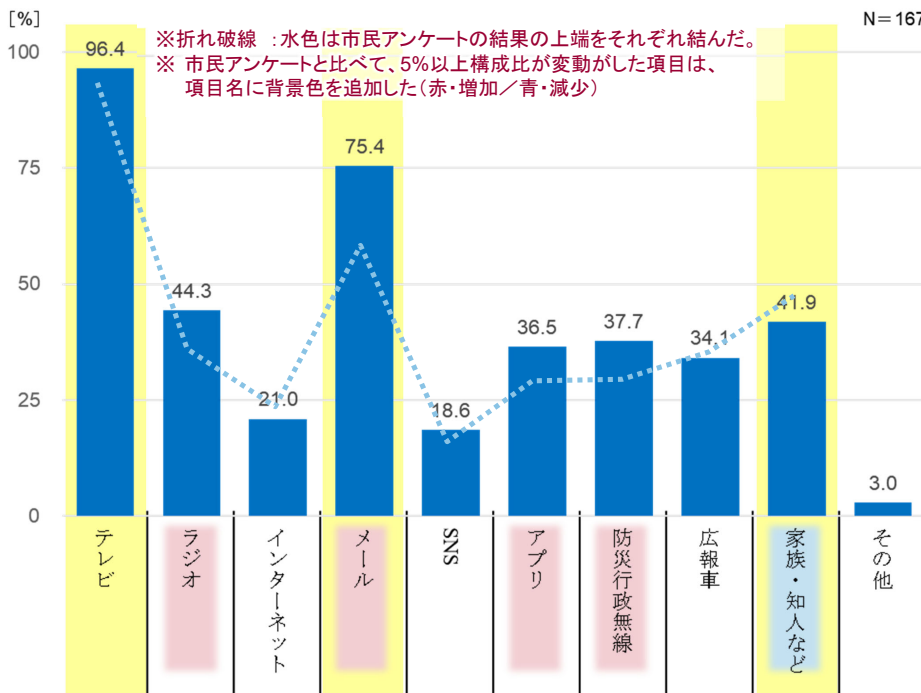
回答(コード化)	度数
天気情報 (Yahoo!天気、気象庁ナウキャストなど)	4
NHK防災	3
河川情報 (県河川カメラ、県河川水位情報など)	3
延岡防災	1
国土交通省	1
OK	1

※「その他」の具体的内容

回答(コード化)	度数
デイサービス	1
会社	1
近所の人	1

- ・「テレビ」は、情報取得経路として根強い。
- ・登録・インストールが必要な「メール」、「アプリ」が高い……情報取得への事前の備え意識を有している。
- ・「防災行政無線」も高いが、「広報車」が低い。……屋外スピーカーではなく、**個別受信機を活用**
- ・「家族・知人など」が低い。……「家族・知人など」へ声をかける側のため高くならなかった、と推察。

問3 あなたは、災害時、情報をどのように入手していますか？（当てはまるもの全てに○）



※「インターネット」で最も参考にしたサイト

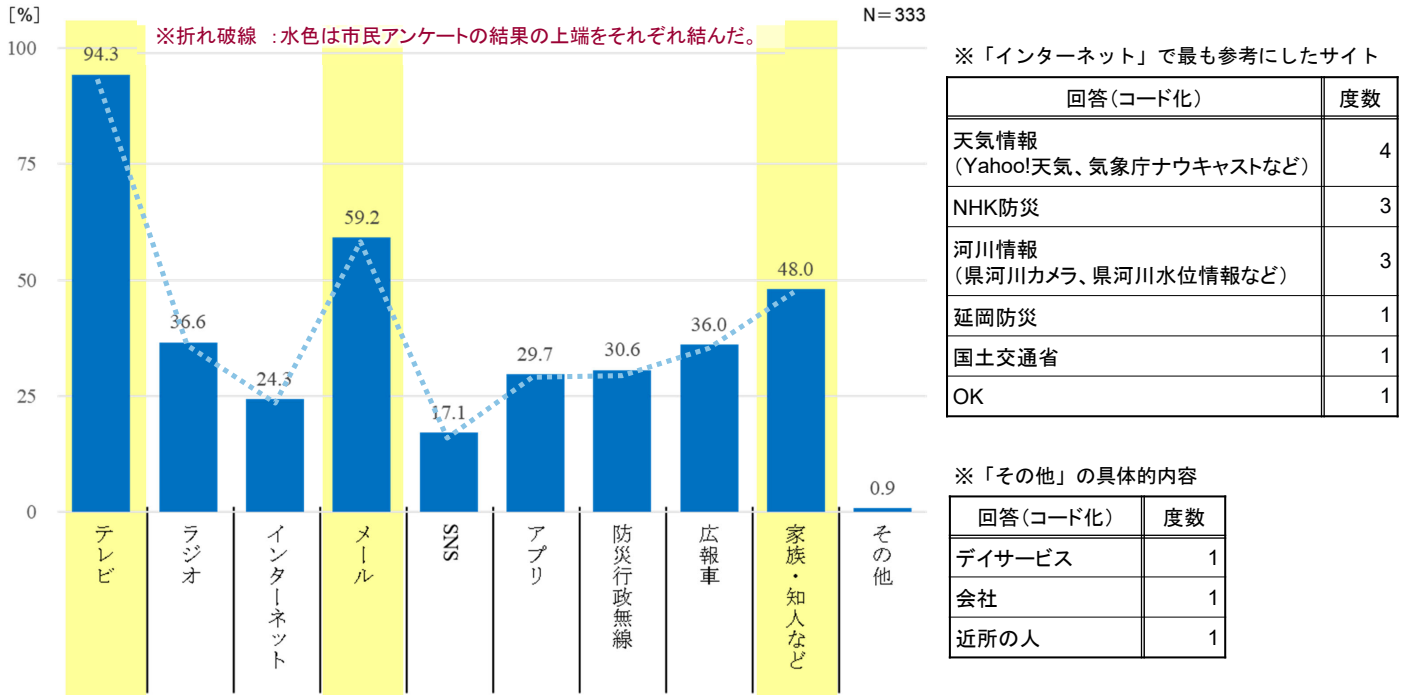
回答(コード化)	度数
天気情報 (Yahoo!天気、気象庁ナウキャストなど)	4
NHK防災	3
河川情報 (県河川カメラ、県河川水位情報など)	3
延岡防災	1
国土交通省	1
OK	1

※「その他」の具体的内容

回答(コード化)	度数
デイサービス	1
会社	1
近所の人	1

- ・やっぱり「テレビ」は、情報取得経路として根強い。
- ・区長と同様に、登録・インストールが必要な「メール」、「アプリ」が高い。……情報取得への事前の備え意識。
- ・「防災行政無線」と「ラジオ」が高い。……やはり、屋外スピーカーではなく**個別受信機を活用**(防災ラジオとして販売)
- ・「家族・知人など」が低い。……こちらも「家族・知人など」へ声をかける側のため高くならなかった、と推察。

問3 あなたは、災害時、情報をどのように入手していますか？（当てはまるもの全てに○）



回答者の大半が「テレビ」から情報を得ており、次点が携帯電話・パソコンでの「メール」、その次が「家族・知人など」と続いた。

参考

災害情報の取得手段

■ 防災行政無線

- ◆ スピーカー音の到達領域：一般に半径300m程度

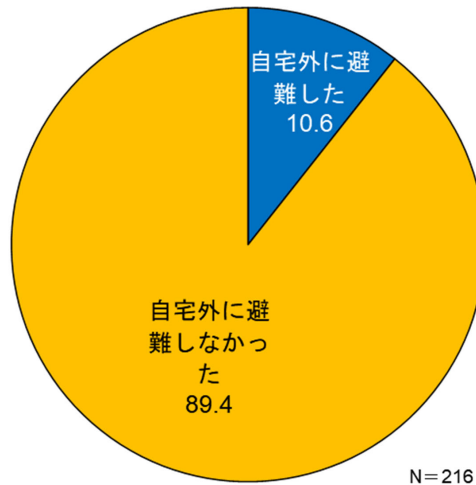
■ 個別受信機：延岡市 防災ラジオ (FM延岡緊急割込放送 自動受信機能月)

- ◆ アンケート結果（「防災行政無線」高、「ラジオ」高）の背景は、このラジオ？（販売の優先順位に、民生委員？）

第1順位	災害警戒区域内に居住する75歳以上の高齢者 (販売価格:2,000円)
第2順位	災害警戒区域内に居住する身体障がい者手帳交付者 (販売価格:2,000円)
第3順位	災害警戒区域内に居住する要介護認定者 (販売価格:2,000円)
第4順位	災害警戒区域外に居住する75歳以上の高齢者 (販売価格:2,000円)
第5順位	災害警戒区域外に居住する身体障がい者手帳交付者 (販売価格:2,000円)
第6順位	災害警戒区域外に居住する要介護認定者 (販売価格:2,000円)
第7順位 ～第10順位	避難支援者や要配慮者利用施設など (販売価格:11,880円)



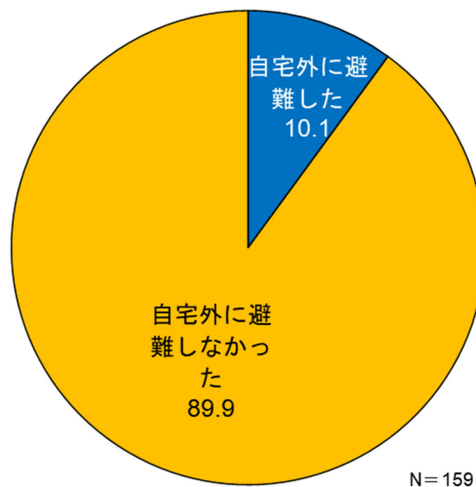
問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。



- ・ **市民アンケート(39.4%)ほど「自宅外避難」率が“高くはない”。**
 :そもそも『自宅やその周辺の相応の災害リスクがない人』が多く、自宅外避難しなかった。
 ⇔市民アンケートの対象者は、『「罹災証明書発行」をするぐらいの被害を受けた人』
 つまりは、『自宅やその周辺の相応の災害リスクがある人』であったため、
 「自宅外避難率」が高くなる要因を有した母集団であったといえる。
- ・ **全国調査(5.7%)よりは「自宅外避難」率が“高い”傾向がみられる。**

19

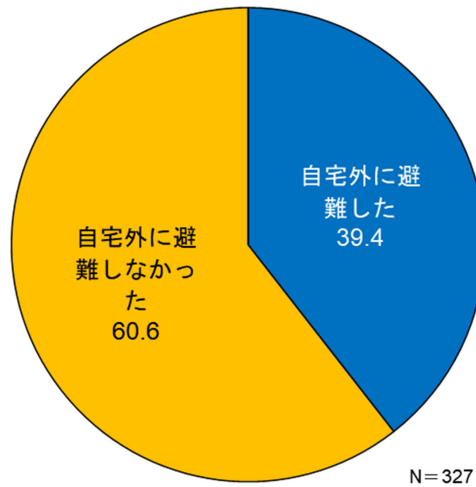
問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。



- ・ **全国調査(5.7%)よりは「自宅外避難」率が“高い”傾向がみられる。**
 : 割合としては、区長アンケートと同程度。
 ……(乱暴に言い換えて、推測をしてしまうと)
 区長アンケート、民生委員・児童委員アンケートでともに「自宅外避難」率が10%程度なら、
 全市調査も「10%程度」だと思われる。

20

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。



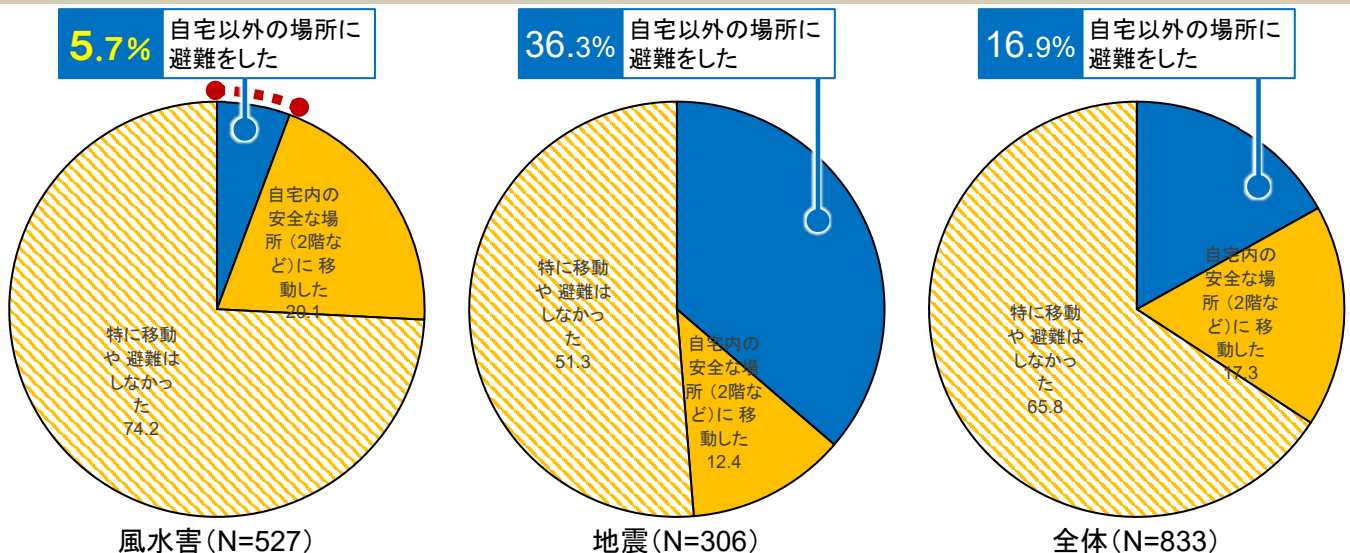
約4割が「**自宅外に避難した**」と回答。全国調査(5.7%)と比べると、**延岡市民の自宅外避難の割合は極めて多い結果**だったといえる。

【参考】
全国調査

自宅外避難の割合

調査	MS&ADインターリスク総研株式会社「自然災害時の避難に関する実態と意識についての調査」
調査手法	インターネット調査
調査エリア	以下の災害の被災地（いずれの地域も警戒レベル4の避難情報(当時の避難勧告・避難指示)が発令されていた) ① 風水害(650名)「2020年7月豪雨(熊本豪雨)」、「2019年10月台風19号(令和元年東日本台風)」、「2018年7月豪雨(西日本豪雨)」の被災地 ② 地震(350名)「2018年9月北海道胆振東部地震」、「2016年4月熊本地震」の被災地
調査対象者	10歳代～80歳代の男女
回収数	1000サンプル
実査期間	令和4(2022)年 10月6日～10月14日

災害の際、被害を避けるため避難や移動をしたか(自然災害種類別)

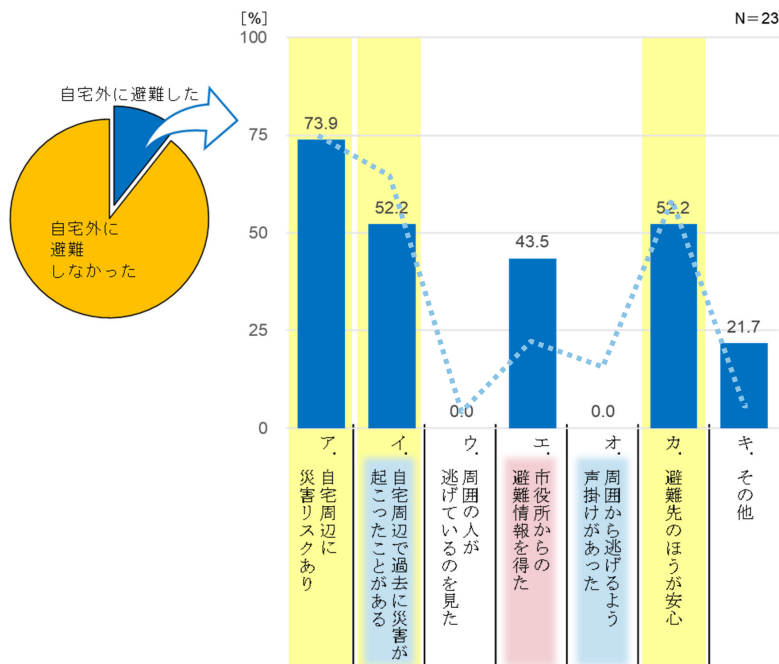


台風14号時の自宅外避難の状況

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-1. 自宅外避難の理由をお聞かせください(当てはまるもの全てに○)。
※近いものがないければ、「その他」の記入欄にご記入ください。



※折れ破線：水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。

※ 市民アンケートと比べて、10%以上構成比が変動した項目は、

項目名に背景色を追加した(赤・増加/青・減少)(10%にしたのは、サンプル数が少なくなったため)なお、「その他」は除外した

・ 市民アンケートと比べて高い項目

「市役所からの避難情報を得た」

：周囲で起こることにも注意を払っているが、加えて、市からの情報にも注意を払い、避難に役立てていたと推察される。

：情報取得手段も、市民アンケートと比べて、延岡市からの情報が得やすい「防災行政無線」や「メール」といった選択肢がなかったことと、整合がとれる結果。

・ 市民アンケートと比べて低い項目

「過去に災害が起こったことがある」

：市民アンケート対象者よりは、そもそも災害リスクの小さい場所にお住まいの人が多かったと思われる。

「周囲からの声掛け」

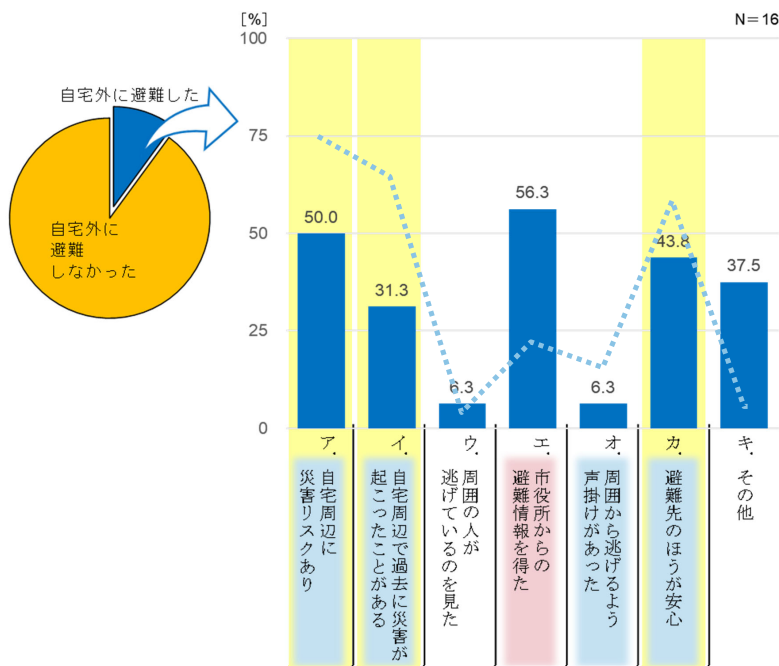
：声をかける側の属性であるため。

台風14号時の自宅外避難の状況

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-1. 自宅外避難の理由をお聞かせください(当てはまるもの全てに○)。
※近いものがないければ、「その他」の記入欄にご記入ください。



※折れ破線：水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。

※ 市民アンケートと比べて、10%以上構成比が変動した項目は、

項目名に背景色を追加した(赤・増加/青・減少)(10%にしたのは、サンプル数が少なくなったため)なお、「その他」は除外した

・ 市民アンケートと比べて高い項目

「市役所からの避難情報を得た」

：区長アンケートと同様。

・ 市民アンケートと比べて低い項目

「自宅周辺に災害リスクあり」

「過去に災害が起こったことがある」
：区長アンケートと同様。そもそも災害リスクの小さい場所にお住まいの人が多かったと思われる。

「周囲からの声掛け」

：区長アンケートと同様。

「避難先のほうが安心」

：職責として避難支援をするなかで、自身の安心だけでなく、避難支援した人の安心も考えたうえでの、回答だったと推察。

	ア. 自宅周辺に災害リスクあり	イ. 自宅周辺で過去に災害が起こったことがある	ウ. 周囲の人が逃げているのを見た	エ. 市役所からの避難情報を得た	オ. 周囲から逃げるよう声掛けがあった	カ. 避難先のほうが安心	キ. その他	有効回答数
度数	17	12	0	10	0	12	5	23
(構成比)	(73.9)	(52.2)	(0.0)	(43.5)	(0.0)	(52.2)	(21.7)	

	ア. 自宅周辺に災害リスクあり	イ. 自宅周辺で過去に災害が起こったことがある	ウ. 周囲の人が逃げているのを見た	エ. 市役所からの避難情報を得た	オ. 周囲から逃げるよう声掛けがあった	カ. 避難先のほうが安心	キ. その他	有効回答数
度数	8	5	1	9	1	7	6	16
(構成比)	(50.0)	(31.3)	(6.3)	(56.3)	(6.3)	(43.8)	(37.5)	

※「キ. その他」の具体的内容

回答	度数
ホテルに避難	1
区長の立場で、区民の一部の人達が避難を始めて集会所に移動してきたので、フォロー態勢をとった。	1
去年は、台風ひどくならない間、テレビで避難指示が出たらすぐ行動をおこした。近所の高齢者一人連れて行く。市役所です。毛布、食べ物の件が無かったのが残念でした。2日間いたため。	1
小さい孫がいたから	1
保育園（2階建て）と隣接している為保育園に行き全館点灯して、避難者に備えた。	1

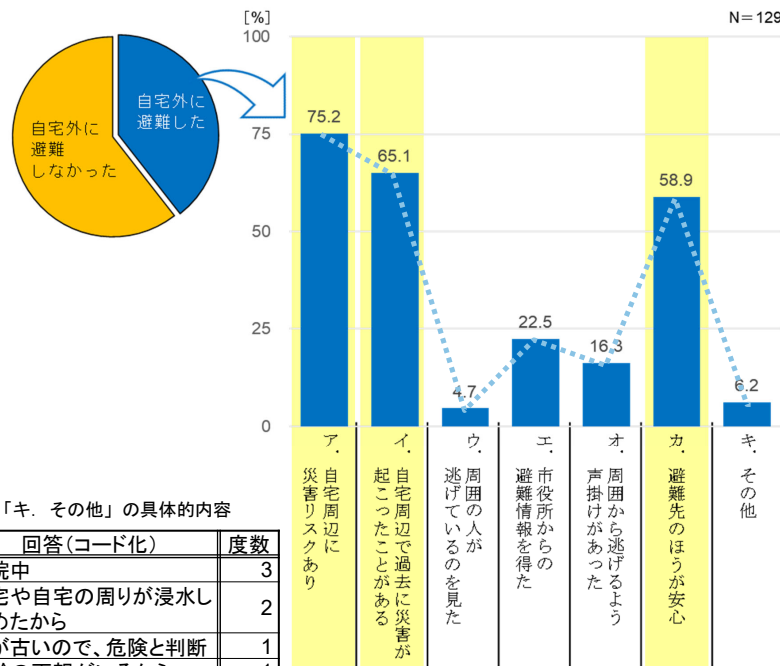
※「キ. その他」の具体的内容

回答(コード化)	度数
子どもから連絡があったから	2
道路の土砂災害がありそうだから	1
一人暮らしの高齢者から避難の相談を受け、一緒に避難することにしたから	1
実家が鉄筋コンクリート2階建てだから	1
高台に自宅があるから	1

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-1. 自宅外避難の理由をお聞かせください(当てはまるもの全てに○)。
※近いものがなければ、「その他」の記入欄にご記入ください。



「自宅周辺に災害リスクあり」が最も多く、次いで「自宅周辺で過去に災害が起こったことがある」が多く選ばれた。

→ 災害のリスク認知が高い人が、そのリスクに対して適切に行動をとっていたと推察される。
… 周囲の人が逃げている様子や、市役所や周囲からの呼びかけといった、いわゆるナッジで逃げたわけではない。

上記の次点として「避難先のほうが安心」も多く選ばれており、上記の2理由に連動した理由と推察される。

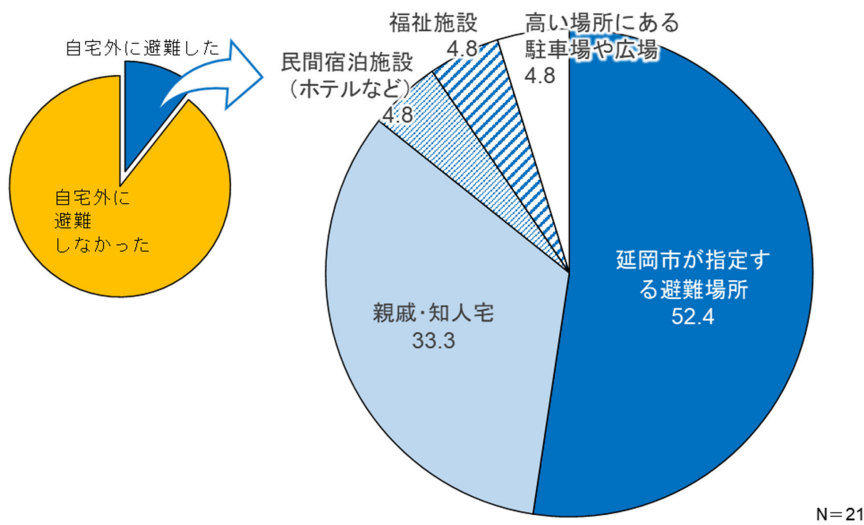
※折れ破線：水色は市民アンケートの結果の
上端をそれぞれ結んだ。

台風14号時の自宅外避難の状況

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-2. 具体的にどこに避難しましたか？(当てはまるもの1つに○)



・全国調査と類似した割合

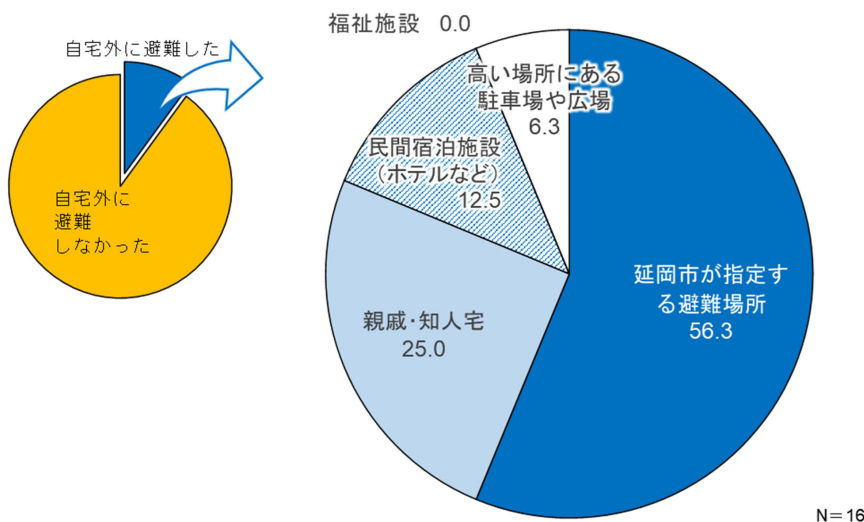
:半数程度が「延岡市が指定する避難場所」、2～3割が「親戚・知人宅」と回答
 ……ただ、区長アンケートでは、
 条件分岐でサンプル数がかなり少なくなってしまうため、傾向まで論じるのは厳しい。

台風14号時の自宅外避難の状況

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-2. 具体的にどこに避難しましたか？(当てはまるもの1つに○)



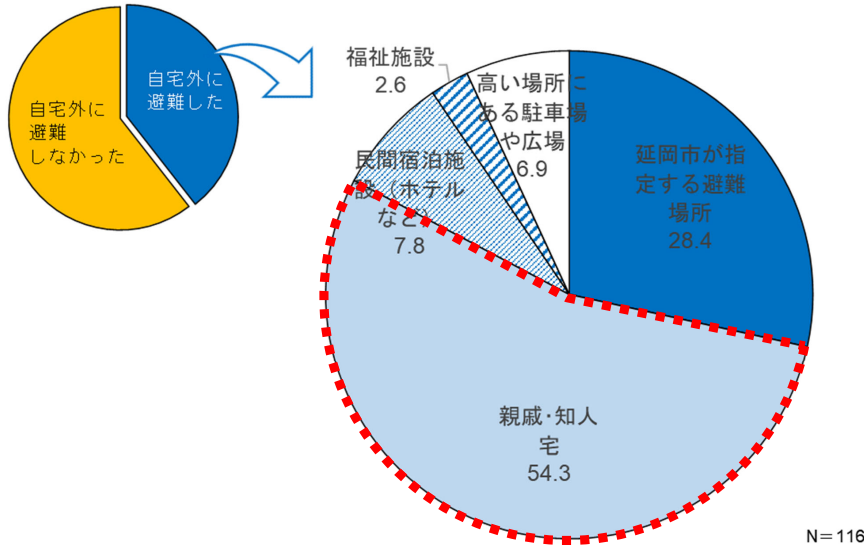
・全国調査と類似した割合

:区長アンケートと同様。
 ……民生委員・児童委員アンケートにおいても、
 条件分岐でサンプル数がかなり少なくなってしまうため、傾向まで論じるのは厳しい。

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-2. 具体的にどこに避難しましたか？（当てはまるもの1つに○）



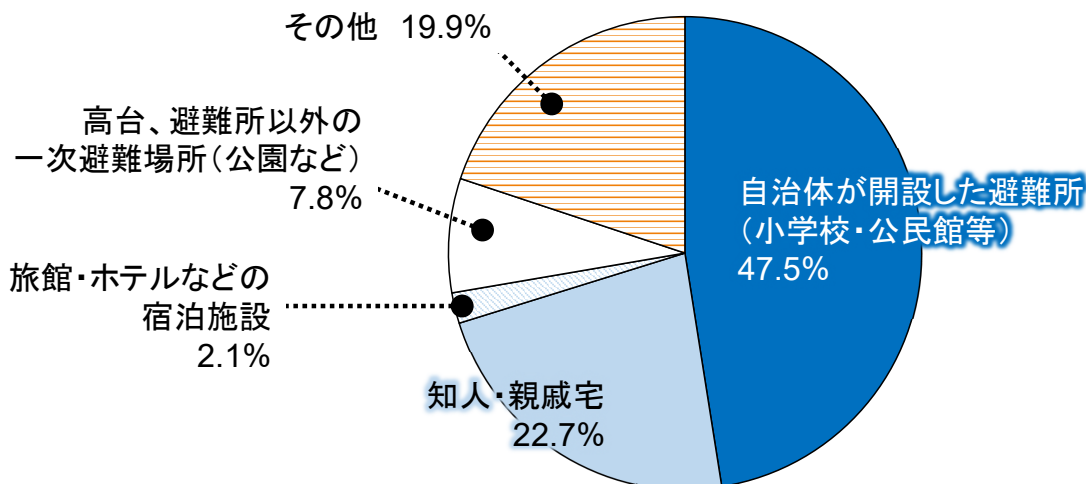
避難先は一般的に「自治体が開設した避難所」が最も集中する傾向にあるが、**延岡市では「親戚・知人宅」に集中する結果**となった。
→「避難＝避難所避難」といった避難イメージが固定化されておらず、**分散避難**が実施されていたといえる。

【参考】
全国調査

自宅外避難の割合

調査	MS&ADインターリスク総研株式会社「自然災害時の避難に関する実態と意識についての調査」
調査手法	インターネット調査
調査エリア	以下の災害の被災地（いずれの地域も警戒レベル4の避難情報（当時の避難勧告・避難指示）が発令されていた） ① 風水害（650名）「2020年7月豪雨（熊本豪雨）」、「2019年10月台風19号（令和元年東日本台風）」、「2018年7月豪雨（西日本豪雨）」の被災地 ② 地震（350名）「2018年9月北海道胆振東部地震」、「2016年4月熊本地震」の被災地
調査対象者	10歳代～80歳代の男女
回収数	1000サンプル
実査期間	令和4（2022）年 10月6日～10月14日

（自宅以外の場所に避難した人に）最も長期間過ごした避難先をお知らせください（N=141）

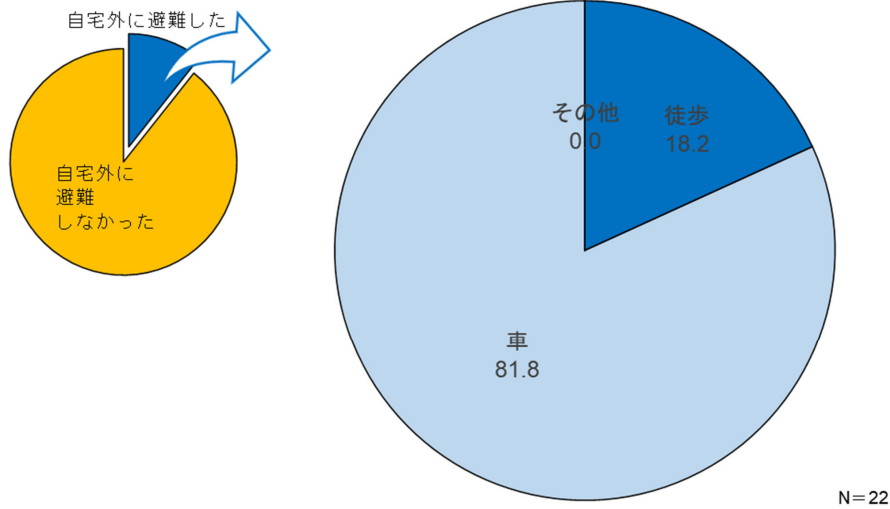


台風14号時の自宅外避難の状況

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-3. どうやって避難しましたか？(当てはまるもの1つに○)



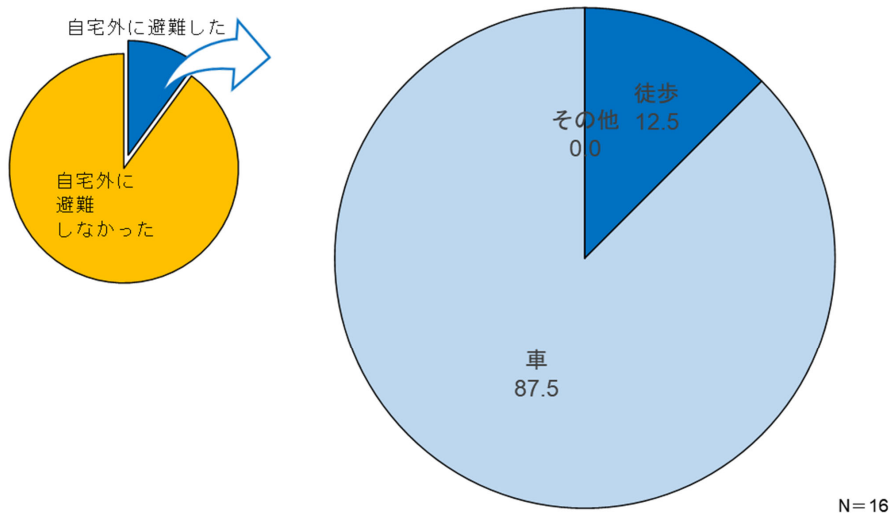
・ 市民アンケートと類似した割合
: 車8割 / 徒歩2割

台風14号時の自宅外避難の状況

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-3. どうやって避難しましたか？(当てはまるもの1つに○)

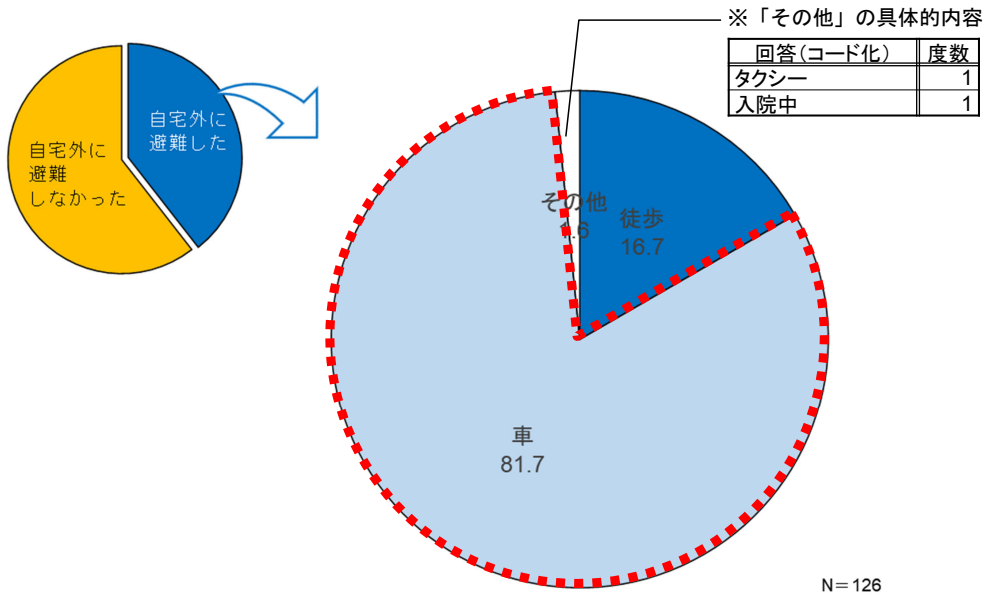


・ 市民アンケートと類似した割合
: 車8割 / 徒歩2割

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-3. どうやって避難しましたか？(当てはまるもの1つに○)



ほとんどが「車」と回答した。

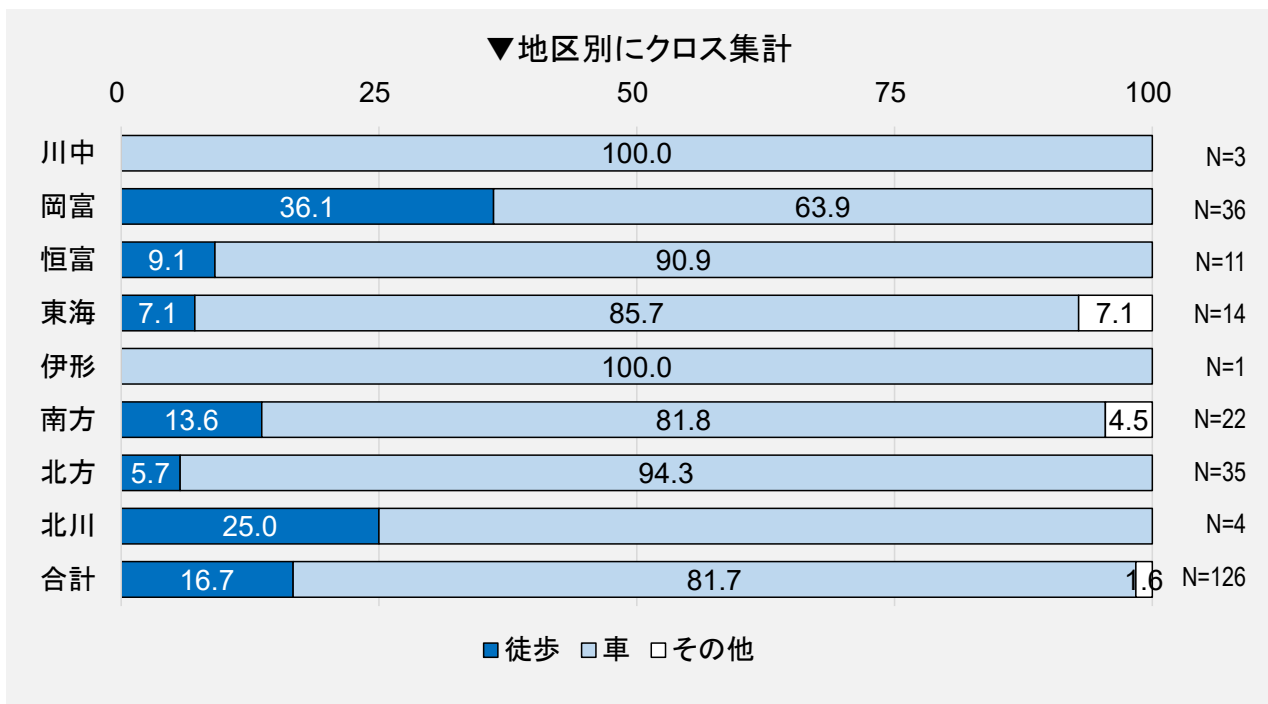
※有効票数が低い地区は除外して考えています。

…… 地区別に見ると、岡富地区で「徒歩」の割合が高くなった※。岡富地区は、富美山町など、浸水被害が広く発生していたため、車ではなく、徒歩移動を選択したと推察される。

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-3. どうやって避難しましたか？(当てはまるもの1つに○)

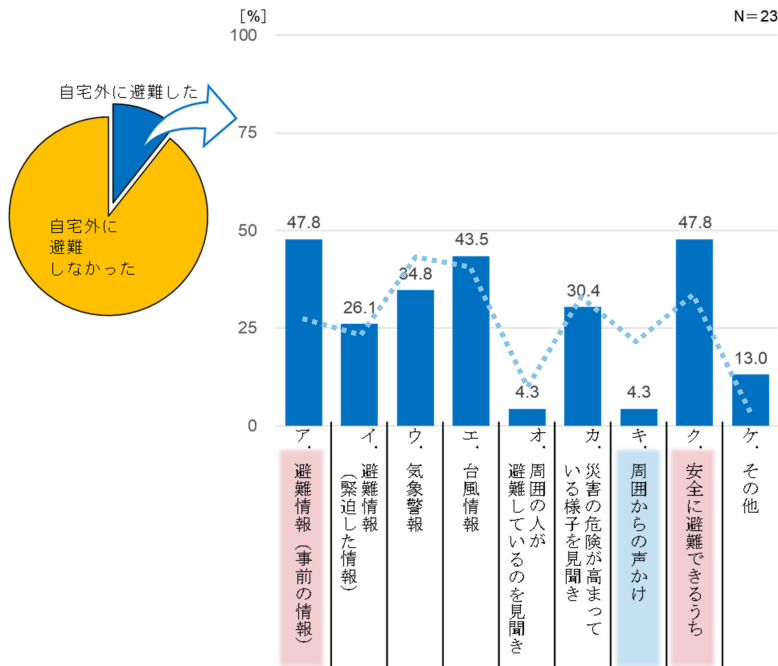


台風14号時の自宅外避難の状況

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-4. 何をきっかけに自宅外避難を開始しましたか？（当てはまるもの全てに○）



※折れ破線：水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。

※ 市民アンケートと比べて、10%以上構成比が変動した項目は、

項目名に背景色を追加した（赤・増加／青・減少）（10%にしたのは、サンプル数が少なくなったため）

・ 市民アンケートと比べて高い項目

「避難情報（事前の情報）」

：問4-ア-1. と同様に、「行政からの情報」に回答が集中。

「安全に避難できるうち」

：上記の「避難情報（事前の情報）」と整合がとれる回答。

・ 市民アンケートと比べて低い項目

「周囲からの声かけ」

：声をかける側の属性であるため。

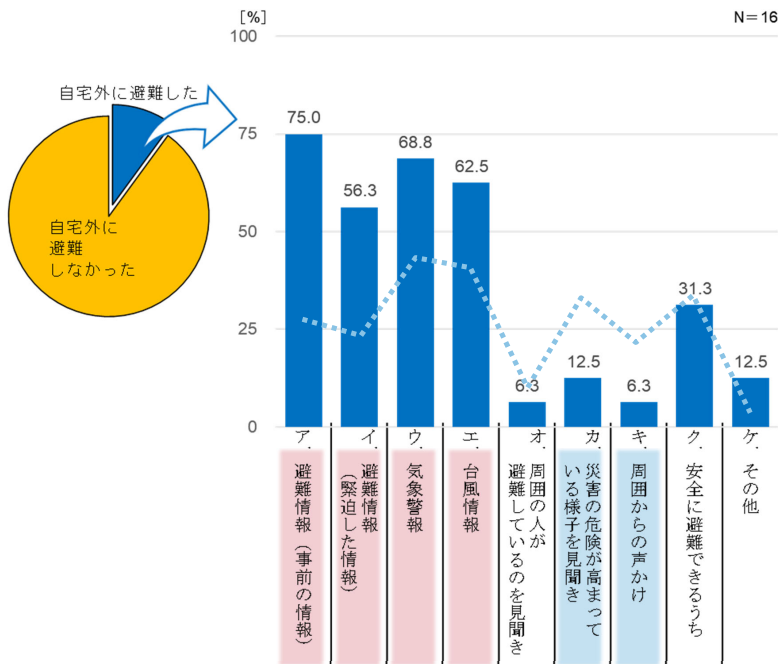
・ ただし、条件分岐でサンプル数がかなり少なくなっている。

台風14号時の自宅外避難の状況

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-4. 何をきっかけに自宅外避難を開始しましたか？（当てはまるもの全てに○）



※折れ破線：水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。

※ 市民アンケートと比べて、10%以上構成比が変動した項目は、

項目名に背景色を追加した（赤・増加／青・減少）（10%にしたのは、サンプル数が少なくなったため）

・ 市民アンケートと比べて高い項目

「避難情報」「気象警報」「台風情報」

：問4-ア-1. と同様に、「行政からの情報」に回答が集中。

・ 市民アンケートと比べて低い項目

「災害の危険が高まっている様子を見聞き」

：周囲で「災害の危険が高まる」前に、行政からの情報で避難を開始したため、本項目が多くならなかった、と推察。

「周囲からの声かけ」

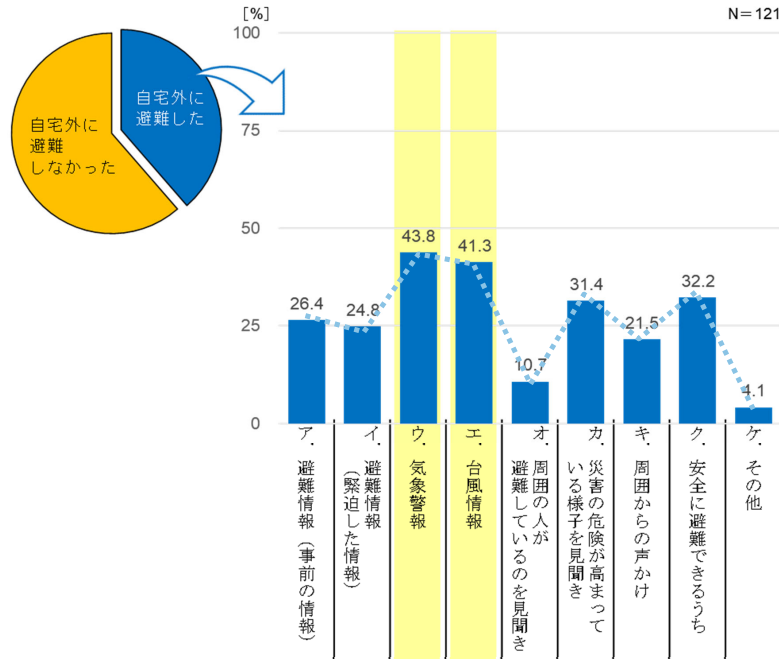
：声をかける側の属性であるため。

・ ただし、条件分岐でサンプル数がかなり少なくなっている。

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-4. 何をきっかけに自宅外避難を開始しましたか？（当てはまるもの全てに○）



※折れ破線：水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。

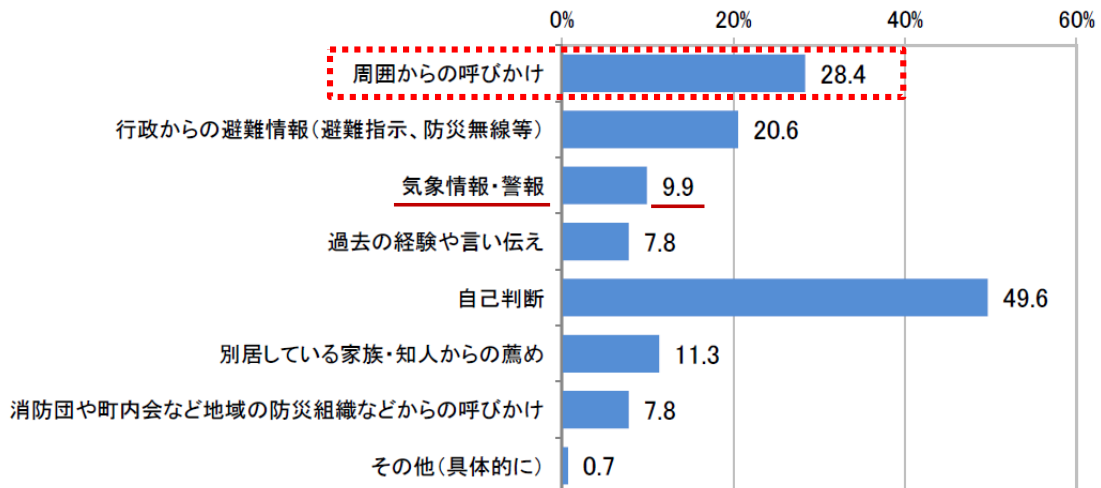
「気象警報」や「台風情報」が最も高い割合となった。
→ 問4-ア-1の結果と同様に、**災害のリスク認知が高い人が多い**ため、周囲からの声かけよりも、客観的な災害情報から適切な行動をとっていたと推察。

【参考】
全国調査

避難のきっかけ

調査	MS&ADインターリスク総研株式会社「自然災害時の避難に関する実態と意識についての調査」
調査手法	インターネット調査
調査エリア	以下の災害の被災地（いずれの地域も警戒レベル4の避難情報（当時の避難勧告・避難指示）が発令されていた） ① 風水害（650名）「2020年7月豪雨（熊本豪雨）」、「2019年10月台風19号（令和元年東日本台風）」、「2018年7月豪雨（西日本豪雨）」の被災地 ② 地震（350名）「2018年9月北海道胆振東部地震」、「2016年4月熊本地震」の被災地
調査対象者	10歳代～80歳代の男女
回収数	1000サンプル
実査期間	令和4（2022）年 10月6日～10月14日

（自宅以外の場所に避難した人に）避難をするきっかけはどのようなことでしたか（いくつでも）

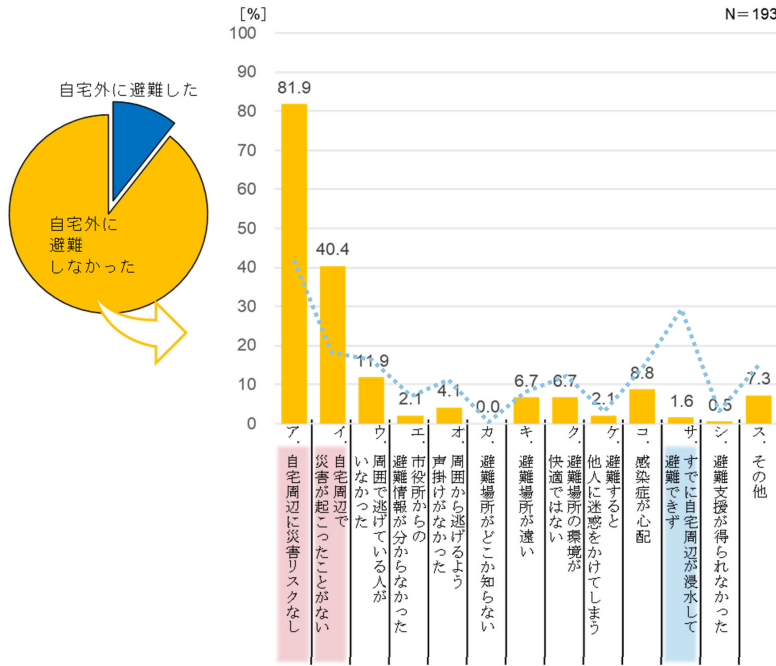


台風14号時の自宅外避難の状況

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難しなかった」と回答した人のみ回答

4-イ-1. 自宅外に避難しなかった理由をお聞かせください(当てはまるもの全てに○)。※近いものがなければ、「その他」の記入欄にご記入ください。



- 市民アンケートと比べて高い項目
「自宅周辺に災害リスクなし」
「自宅周辺で災害が起こったことがない」
: 災害リスクれる回答。
- 市民アンケートと比べて低い項目
「周囲からの声かけ」
: 声をかける側の属性であるため。
- ただし、条件分岐でサンプル数がかなり少なくなっている。

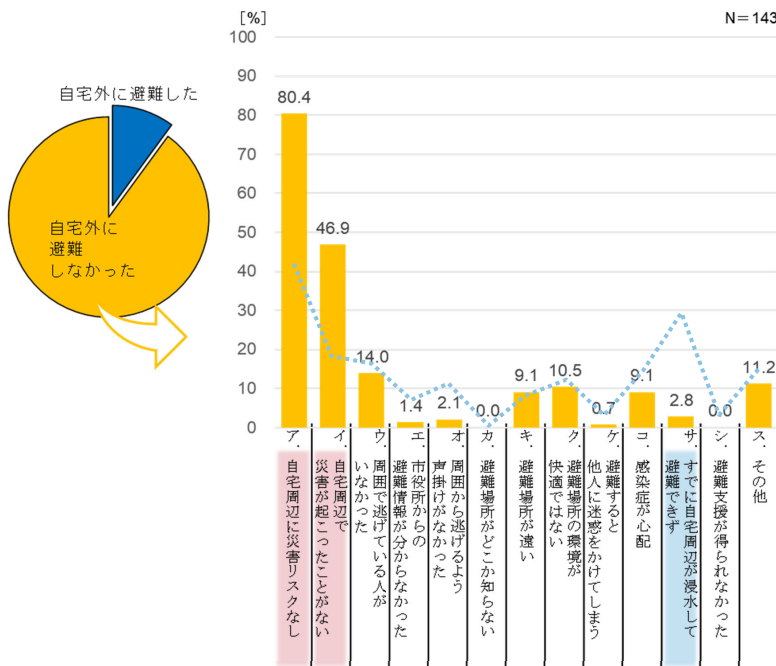
※折れ破線 : 水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。
※ 市民アンケートと比べて、10%以上構成比が変動した項目は、項目名に背景色を追加した(赤・増加/青・減少)(10%にしたのは、サンプル数が少なくなったため)

台風14号時の自宅外避難の状況

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難しなかった」と回答した人のみ回答

4-イ-1. 自宅外に避難しなかった理由をお聞かせください(当てはまるもの全てに○)。※近いものがなければ、「その他」の記入欄にご記入ください。



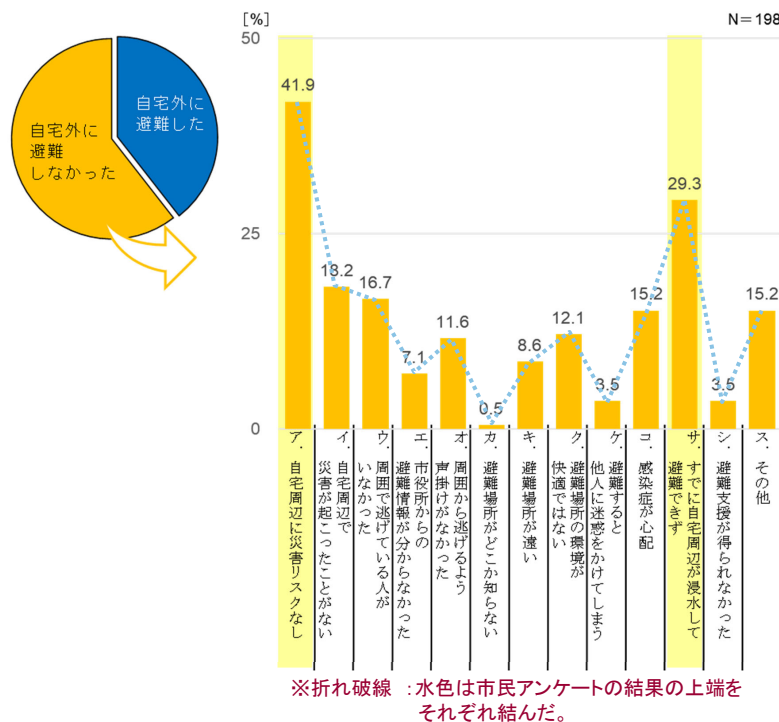
- 市民アンケートと比べて高い項目
「避難情報」「気象警報」「台風情報」
: 問4-ア-1. と同様に、「行政からの情報」に回答が集中。
- 市民アンケートと比べて低い項目
「災害の危険が高まっている様子を見聞き」
: 周囲で「災害の危険が高まる」前に、行政からの情報で避難を開始したため、本項目が多くならなかった、と推察。
「周囲からの声かけ」
: 声をかける側の属性であるため。
- ただし、条件分岐でサンプル数がかなり少なくなっている。

※折れ破線 : 水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。
※ 市民アンケートと比べて、10%以上構成比が変動した項目は、項目名に背景色を追加した(赤・増加/青・減少)(10%にしたのは、サンプル数が少なくなったため)

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難しなかった」と回答した人のみ回答

4-イ-1. 自宅外に避難しなかった理由をお聞かせください(当てはまるもの全てに○)。※近いものがないければ、「その他」の記入欄にご記入ください。



「自宅周辺に災害リスクなし」が最も多く、「すでに自宅周辺が浸水して避難できず」が次点。

回答者は、り災証明書を発行した方なので、相応に災害による被害を受けた方である。つまり、そもそも災害リスクがある場所にお住まいの方だったといえる

→「自宅外に避難しなかった」人たちは、**自宅周辺の災害リスクを誤認していたと推察される。**

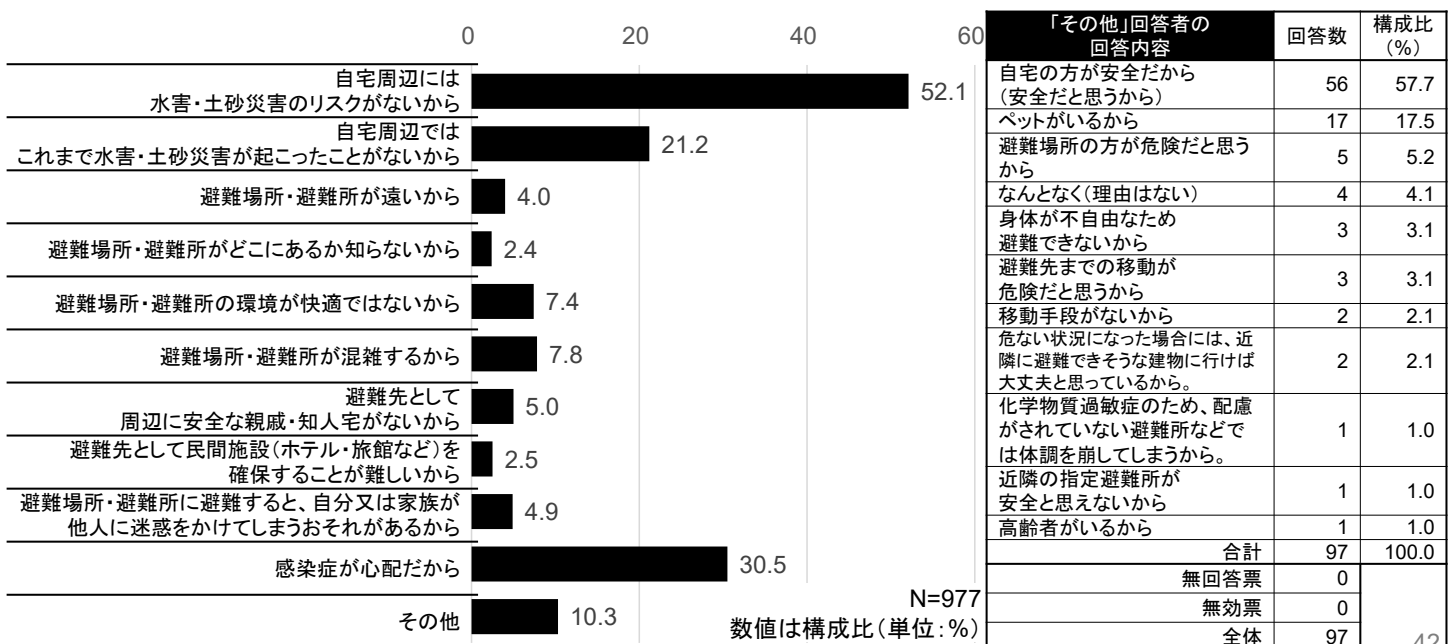
：啓発広報資料の閲覧状況は良好であるものの、適切に読み取れているのか確認が必要。

【参考】
全国調査

避難しない理由

調査	内閣府「水害・土砂災害時の避難行動に関するアンケート」
調査手法	インターネット調査
調査エリア	令和3年もしくは令和2年に風水害によって死者が発生した自治体(計29自治体)
調査対象者	10歳代～80歳代の男女
回収数	6000サンプル
実査期間	令和4(2022)年 1月25日～2月3日

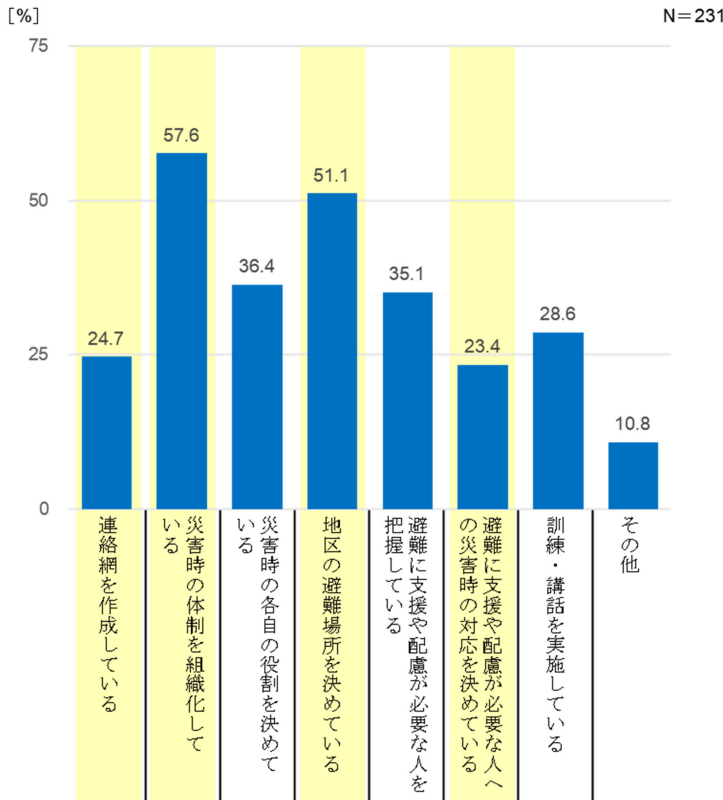
Q16-2) (Q16-1で「避難しない(普段どおりの生活をつづける)」と回答した人のみお答えください) あなたが「避難しない(普段どおりの生活をつづける)」と考えている理由は何ですか。(いくつでも)



「その他」回答者の回答内容	回答数	構成比 [%]
自宅の方が安全だから(安全だと思うから)	56	57.7
ペットがいるから	17	17.5
避難場所の方が危険だと思うから	5	5.2
なんとなく(理由はない)	4	4.1
身体が不自由なため避難できないから	3	3.1
避難先までの移動が危険だと思うから	3	3.1
移動手段がないから	2	2.1
危ない状況になった場合には、近隣に避難できそうな建物に行けば大丈夫と思っているから。	2	2.1
化学物質過敏症のため、配慮がされていない避難所などで体調を崩してしまうから。	1	1.0
近隣の指定避難所が安全と思えないから	1	1.0
高齢者がいるから	1	1.0
合計	97	100.0
無回答票	0	
無効票	0	
全体	97	42

問5

地区で災害時に備え、平時から準備していることはありますか？(当てはまるもの全てに○)



- 比較的回答率が高い項目(図中赤)**

「災害時の体制を組織化している」
 「地区の避難場所を決めている」
 : どちらも防災力向上に向けては必要なこと。ただし、決めることによって「避難先イメージ」や、「防災は地区役員でやるべき」といったイメージの固定化が起きてしまっていないか、注意が必要。(4-ア-2では、避難先の回答では、指定避難場所が最も多くなっている) 防災・避難に対する柔軟性や、地域みんなで防災に取り組む、といった重要性について、改めての確認が必要。
- 比較的回答率が低い項目(図中青)**

「連絡網を作成している」
 : 個人情報の観点から、連絡先を集めることも難しいことが背景にありそう。
 「避難に支援や配慮が必要な人への災害時の対応を決めている」
 : 避難行動要支援者への対応は、難しい項目のひとつ。個別避難計画の策定推進が必要な現れ。

問5

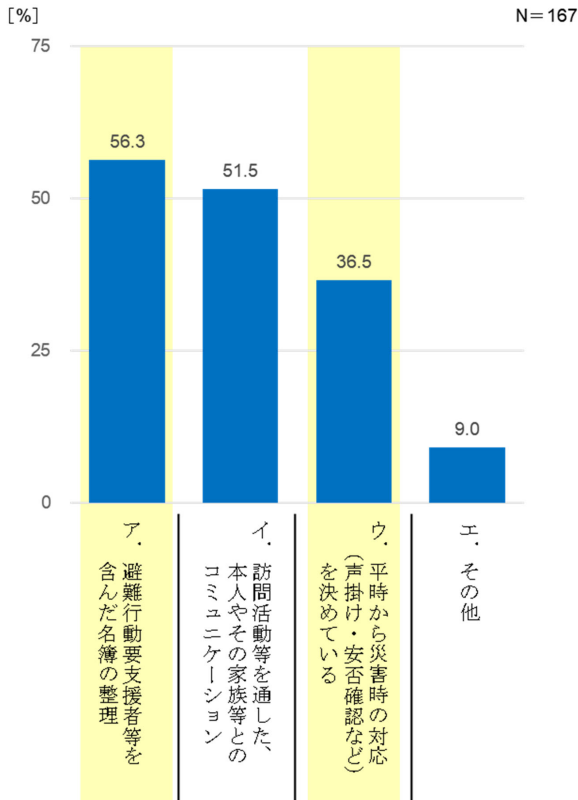
地区で災害時に備え、平時から準備していることはありますか？(当てはまるもの全てに○)

※「キ. その他」の具体的な内容

回答(コード化)	度数
自主防災組織や体制の見直し	3
不安あり(高齢化、訓練ができていないなど)	3
災害の経験が少ないので関心が薄い	2
注意喚起の広報、回覧	2
有線放送での呼びかけ	2
区のハザードマップの作成・配布	1
区長より各家庭への安全確認、連絡	1
区役員との連絡	1
地区合同での避難所の点検掃除	1
防災訓練を実施予定	1
要支援者名簿の共有や支援者の決定	1
自主避難場所(指定でない)一時的に集会所開放し、その後対策を取る	1
早めに公民館(避難所)を開放する	1
地区全体が土砂災害危険区域であり検討要	1
災害が発生したらまず自分の逃げ場所を優先して、優先順位が大事と考える	1
マンションなので避難しない	1
特になし	1
わからない	1

問5

担当地区での避難行動要支援者(1人で避難が難しい方)と思われる方に関する、あなたの関わり等について、お聞かせください。(当てはまるもの全てに○)



- 比較的回答率が高い項目(図中赤)
「避難行動要支援者等を含んだ名簿の整理」
- 比較的回答率が低い項目(図中青)
「平時から災害時の対応(声掛け・安否確認など)を決めている」
: 平時の生活に関することが中心で、災害時の話までは話し合っていない民生委員児童委員の方々もいらっしゃる。
個別避難計画の策定推進が必要な現れ。

問5

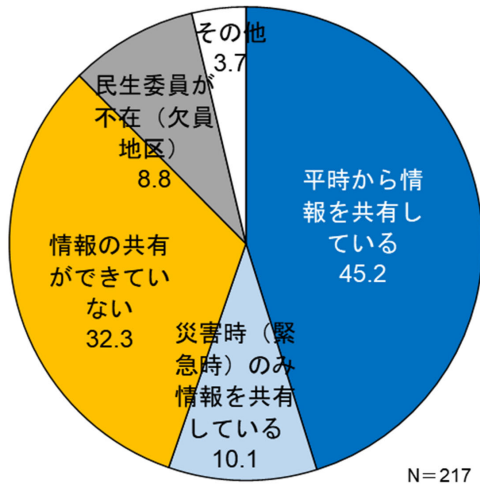
担当地区での避難行動要支援者(1人で避難が難しい方)と思われる方に関する、あなたの関わり等について、お聞かせください。(当てはまるもの全てに○)

※「エ. その他」の具体的内容

回答(コード化)	度数
区長や消防団等と連絡を取っている	3
会議・定例会を開催している	2
日頃からの安否確認や声掛けをしている	2
災害時連絡をする人を決めている	1
家族の構成、連絡等は前もって了解して頂き、災害時避難時には個別に対応している	1
自主広報を出し、避難の手段等呼びかけている	1
付近の方の協力をあてにしている	1
特に意識していない	1
要支援者の名簿は見たがコピー不可だった	1
利用している施設から必要ないと言われている	1

問6

地区内の避難に支援等が必要な方について、
地区の民生委員と情報を共有していますか？(当てはまるものに○)



※「エ. その他」の具体的内容

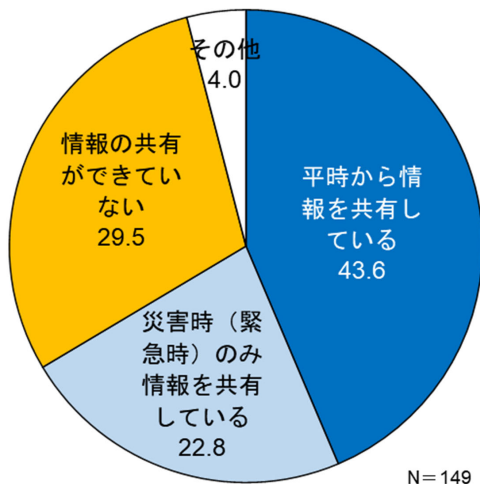
回答	度数
一人暮らしの高齢者を把握している	1
高齢者一人暮らしの方とは避難のTEL、又は自宅に行き声掛けを行っている。	1
高齢者名簿(70歳以上)は共有しているが、支援の要否は個人情報でもあり把握していない。(区としてデータ管理等していない)	1
福祉推進チームと区とは共有していますが、民生委員とはしてない。	1
区長が輪番制なので、民生委員との情報をまだ話し合っていない	1
民生委員だけではなく、地区の人の協力も必要なのでこの体制を早急に構築する予定です	1
あまり共有していない	1
まだ来たばかりでわかりません	1

・ 民生委員児童委員アンケートと、ある程度整合がとれる結果

- : 平時から情報共有している 4割
- : 災害時(緊急時)のみ情報を共有している 1割
- : 情報共有ができていない 3割

問6

避難行動要支援者について、
区長等と情報を共有していますか？(当てはまるものに○)



※「エ. その他」の具体的内容

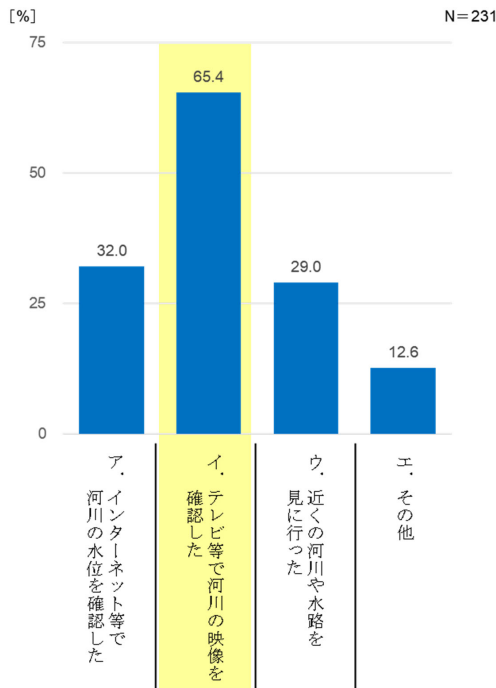
回答	度数
区の福祉推進員との連携	1
区長さんに連絡をしている。	1
今回新区長からも相談にのってほしいといわれている為、出来る範囲内で協力している。	1
区長とのコミュニケーションが出来ていない	1
区長が一期ごとの交代で仕事を持っていることもあり話し合いの場を持つとしない	1

・ 区長アンケートと、ある程度整合がとれる結果

- : 平時から情報共有している 4割
- : 災害時(緊急時)のみ情報を共有している 2割
- : 情報共有ができていない 3割

問7

台風14号時に区長(区)として次のような情報収集を行いましたか？
(当てはまるもの全てに○)



※「エ. その他」の具体的内容

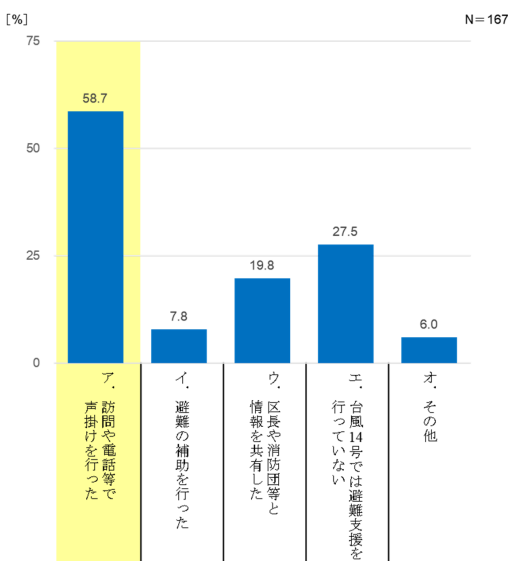
回答	度数
区長間で情報共有	3
自宅から外の様子を確認した	3
地区内の見回り(道路冠水の状況、低地など)	3
当時は区長ではなかった	3
特に心配しなかった	3
消防団から	2
友人・知人から	2
電話	1
災害情報メール	1
防災行政無線	1
放送を聞いた	1
ダム管理からの放流放送案内	1
インターネットで上流部の雨量を確認した	1
避難場所へ行った	1
市へ報告した	1
あんなに酷くなっているとは知らなかった	1
引越す前でわからない	1

・ 比較的回答率が高い項目「テレビ等で河川の映像を確認した」

: 近年、地デジ対応テレビでも見るできるようになっており、その機能を使いこなして情報収集をした人が多かった。

問7

台風14号時に民生委員として、どのように避難支援をしましたか？
(当てはまるもの全てに○)



※「エ. 台風14号では避難支援を行っていない」の具体的理由

回答(コード化)	度数
被害や危険はほとんどなく、避難が必要ないと判断したから	16
要支援者に家族がいるから	4
自宅や自宅周辺に危険が迫っていたから	2
自分や自分の家族のことで手一杯だったから	2
自身が仕事だったから	2
支援をしても自宅に居た方が良いという高齢者が多かったから	1
避難支援体制が整っておらず動けなかったから	1
夜中はどうしようもなかったから	1
水害が想定できなかったから	1
風雨が激しくなってからでは自宅の方が安全であったから	1
何も連絡がなかったから	1
後日避難されたかを聞き取りした	1

※「オ. その他」の具体的内容

回答	度数
台風が近づいた時点で訪問して早めに避難を進めておく	1
台風後に声かけ訪問等行った。(区長と連携して行った)	1
翌日、担当地区の訪問活動をした。	1
訪問して弁当などを差し入れた。	1
台風後の物資配給支援に当たった。	1
避難場所へ確認してみた	1
区長さんにいつも連絡をお願いしている。	1
主任児童委員なので民生委員さんにお願いした。	1
避難場所の環境や備品不足、過去に避難の教訓で支援者から遠慮希望のため	1
この時まだ民生委員になっていませんでした	1

・ 比較的回答率が高い項目

「訪問や電話等で声掛けを行った」

: 地区住民の皆さんに対して、避難支援のうち、比較的实施しやすい声掛けが最も高くなった。

・ 「台風14号では避難支援を行っていない」

: 全市にとったアンケートのため、なかには避難が必要なほどの事態にならなかった地区もあったため。

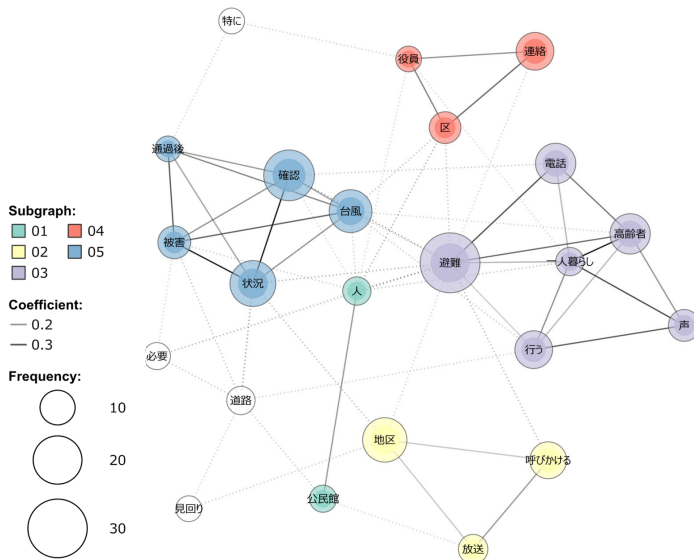
問8 台風14号時に区長(区)として行った活動があれば教えてください。

122件の自由回答をもとにテキストマイニング※を行った。

- ◆ テキストマイニング:大量の文章データから統計学等を適用して有益なデータを抽出
→ 定性データである文字列を単語(名刺、動詞、形容詞等)に分割し、それらの出現頻度や相関関係を分析できる。

▼頻出語(上位30)

	抽出語	出現回数
1	避難	52
2	確認	37
3	状況	30
4	地区	28
5	台風	26
6	高齢者	23
7	電話	23
8	行う	20
9	連絡	20
10	呼びかける	19
11	被害	15
12	区	14
13	声	14
14	避難場所	12
15	放送	12
16	一人暮らし	11
17	人	11
18	道路	11
19	公民館	10
20	必要	10
21	区長	9
22	見回り	9
23	通過後	9
24	特に	9
25	役員	9
26	家	8
27	家庭	8
28	行く	8
29	高い	8
30	実施	8



分析ソフト	KH-corder
集計単位	段落
最小出現数	10:分析での煩雑さ回避のため、上位20語程度に絞った。
描画する共起関係の選択	Jaccard
描画設定	強い共起関係程濃い線に。

▲共起ネットワーク分析:単語同士の関連性や出現パターンの類似性を踏まえて文章中の単語の繋がりを可視化したもの

問8 台風14号時に区長(区)として行った活動があれば教えてください。

「避難」を中心にいくつかの塊が形成

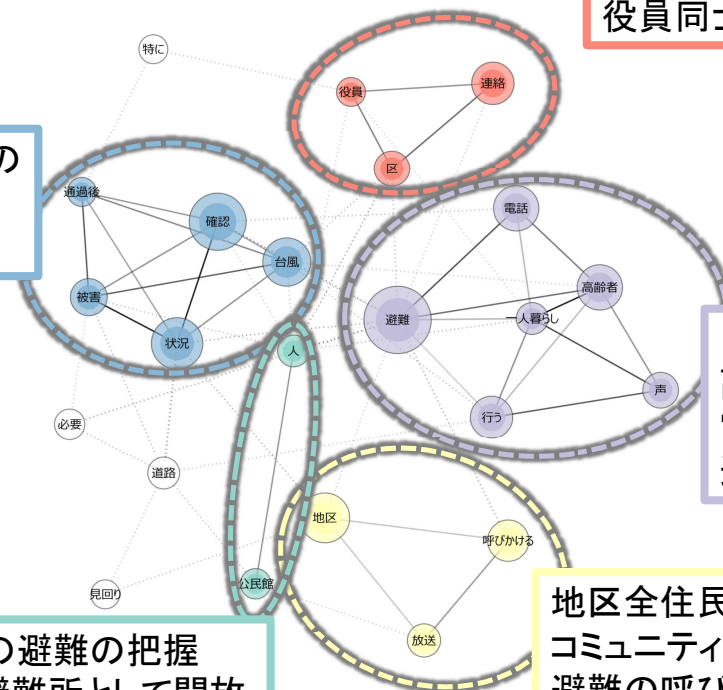
地区内の役員同士での連絡・共有

台風通過後の被害状況の把握

一人暮らしの高齢者世帯への電話による避難の呼びかけ

公民館への避難の把握
公民館を避難所として開放

地区全住民に対するコミュニティ放送を使った避難の呼びかけ



問8 台風14号時に区長(区)として行った活動があれば教えてください。

自由回答意見の例

※ 共起ネットワーク図で結ばれている語は、「関連して出やすい」という意味で、1件のご意見の中ですべての単語が必ずしも記載されているわけではありません。

地区内の役員同士での連絡・共有

区、役員、連絡

- ◆ 各役員と連絡を密にし、常時状況を確認した。
- ◆ 台風14号接近に伴い、ベランダのプランタ、物干し竿、その他飛ばない様にする、家内に入れる。窓ガラスに養生テープを貼るなど、団地内7箇所掲示板に文書を掲示し台風に備える様に呼びかけた。各役員には異常があった時すぐに連絡メールするように伝えた。

公民館への避難の把握

公民館、人

- ◆ 東海小学校、東海東小学校に行き、地区の避難者状況や環境を確認した。避難所に行けない人たちが身近な大門公民館へ避難してくる可能性を考え、公民館を開放して待機したが幸いにも避難者も被害も地区ではなかったので安心した。
- ◆ 公民館の開放、マイク等で町内に放送

問8 台風14号時に区長(区)として行った活動があれば教えてください。

自由回答意見の例

※ 共起ネットワーク図で結ばれている語は、「関連して出やすい」という意味で、1件のご意見の中ですべての単語が必ずしも記載されているわけではありません。

1人暮らしの高齢者世帯への電話による避難の呼びかけ

避難、高齢者、一人暮らし、電話、声、行う

- ◆ 高齢者の方に早めの避難を呼びかけた
- ◆ 高齢者一人世帯に対して電話での避難と避難場所をお知らせしました。
- ◆ 高齢者一人暮らしの方には電話または繋がらない時は自宅に伺い避難の声掛けを行っている。避難を躊躇されたり家を守る、大丈夫だろうとの事で家に停まるケースがあります。特に長浜町は浸水については松林に近づくとつれ海拔が高くなる事もあるのだらうと思います。

地区全住民に対するコミュニティ放送を使った避難の呼びかけ

地区、呼びかける、放送

- ◆ 心配な方は南方コミセンに避難するようコミュニティ放送で呼びかけた。
- ◆ 富美山地区区長会として、連絡網低地巡回取り決めに従い消防団と情報交換して消防団車の放送を要請したりしている。
- ◆ 地区の放送で避難所開設を連絡した。

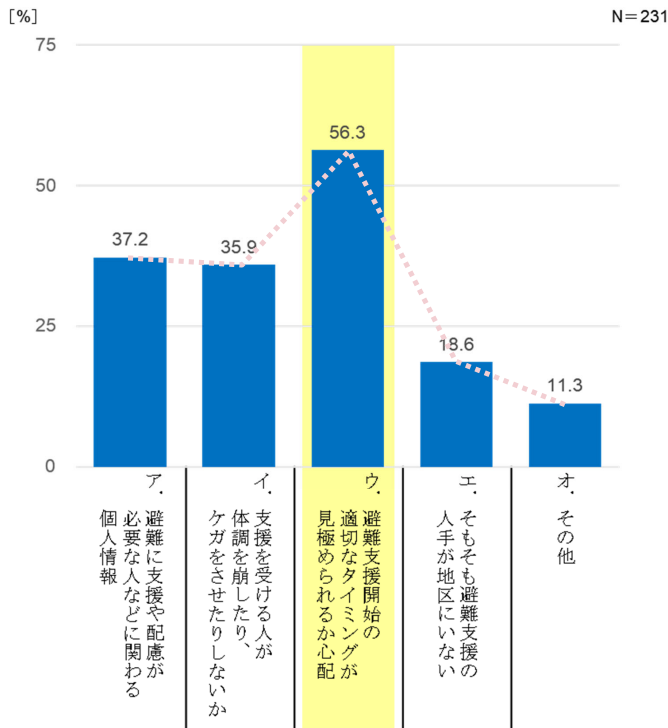
台風通過後の被害状況の把握

台風、通過後、確認、被害、状況

- ◆ 通過後の地区内の見回りを実施。①災害の把握 ②写真撮りの実施
- ◆ 特に事前の行動はとっていない通過後の被害については調査した。

問9

区長(区)として、災害時の支援に関し懸念していることについて、お聞かせください。
(当てはまるもの全てに○)



※ 折れ破線 : ピンク色は区長アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。

- 比較的回答率が高い項目**
「避難支援開始の適切なタイミングが見極められるか心配」
 : そもそも自宅周辺に災害リスクのない人が多いことが背景にあるためと推察している。
 「自分自身に避難が必要ない」
 →「考えたことがないから、自信がない」
- 比較的回答率が低い項目**
「そもそも避難支援の人手が地区にいない」
 : 地区住民の高齢化や若手の減少などの懸念もあるが、「人手がそれなりにいる」と感じている区長もいることが推測されるため、個別避難計画の策定などによって、避難支援のマッチングができれば、避難支援で懸念されることも軽減することが期待できる。

問9

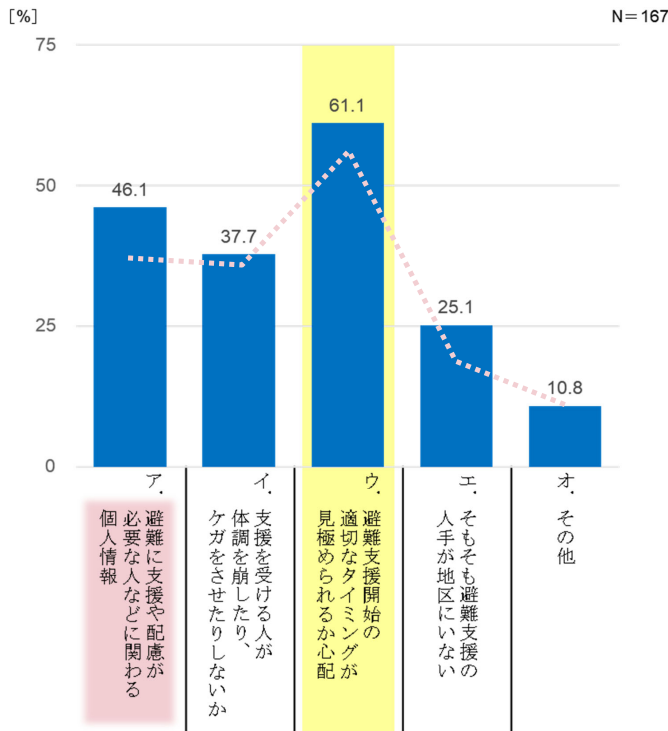
区長(区)として、災害時の支援に関し懸念していることについて、お聞かせください。
(当てはまるもの全てに○)

※ 「オ. その他」の具体的内容

回答(コード化)	度数
避難場所までの経路が不安(細く急な道、遠いなど)	4
区民の高齢化	3
支援者を決めていない・誰が誰を支援できるかわからない	3
何かあった場合の責任の所在	2
自身が高齢で不安	2
避難先に対する避難者の満足度が不安	2
仕事をしていると区長業務ができない	1
区に関心のある人が少ない	1
若い人が少ない為機動力不足	1
福祉推進チームでは見守り体制(平時)があるが災害時に生かされるか	1
要支援者と支援者のコミュニケーション	1
台風は事前避難が可能だが、津波、地震では避難所へ行けないのではないか	1
なかなか避難してくれない	1
災害時緊急時の通信網の脆弱さ	1
想定以上の降雨があると住宅被害は甚大	1
早く自主防災組織作りに対応したい	1
何もしていない	1

問8

民生委員として、災害時の支援に関し懸念していることについて、お聞かせください。
(当てはまるもの全てに○)



※ 折れ破線：ピンク色は区長アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。
※ 区長アンケートと比べて、5%以上構成比が変動がした項目は、項目名に背景色を追加した(赤・増加/青・減少)

- 比較的回答率が高い項目**
「避難支援開始の適切なタイミングが見極められるか心配」
 : 区長アンケートと同様。
 : そもそも自宅周辺に災害リスクのない人が多いことが背景にあるためと推察している。
- 比較的回答率が低い項目**
「そもそも避難支援の人手が地区にいない」
 : こちらも区長アンケートと同様。
 : 「人手がそれなりにいる」と感じている民生委員児童委員もいることが推測される。
 個別避難計画の策定などによって、避難支援のマッチングを考えていくことが必要。
- 区長アンケートと比べて、回答率が高い項目(図中赤)**
「避難に支援や配慮が必要な人などに関わる個人情報」
 : 区長よりも民生委員児童委員のほうが、個人情報の扱いに苦慮している傾向にある。

問8

民生委員として、災害時の支援に関し懸念していることについて、お聞かせください。
(当てはまるもの全てに○)

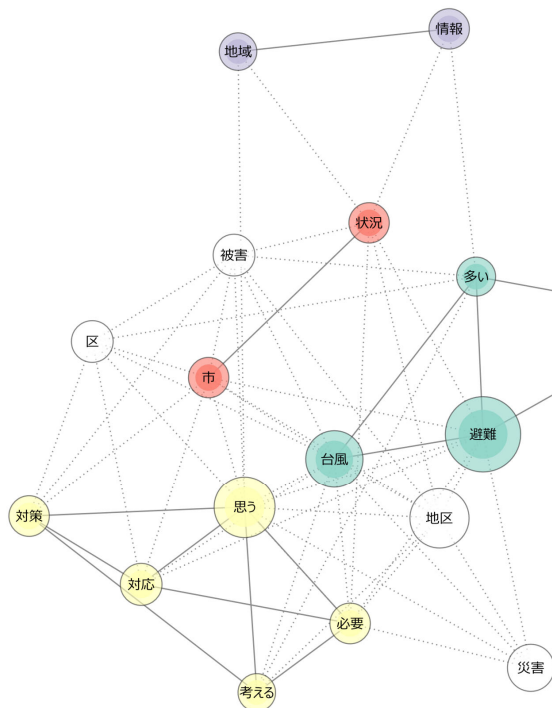
※ 「オ. その他」の具体的な内容

回答	度数
避難の経路・場所・手段などに関すること (・避難場所が山からの湧水で近付けなくなるから ・避難場所の環境整備の必要性 ・避難を民生委員に依頼されたが、私自身も車の運転が怖く、タクシーを依頼するようにしたことはある ・避難支援には神経質にならざるを得ないが、指示や警報のタイミングはいつも疑問を持っている。 ・早目にホテルに避難される ・早目に行ってホテルとか子供の所とかを聞く。)	6
高齢者に関すること (・地区内は高齢者が多いため、なかなか思うようにいかない。 ・高齢者が多い ・一人暮らしの高齢者の具体的な対応については、不十分、自宅が安全と考えられた。)	3
家に関すること (・家の方が不便な部分が少ない等の声を聞く ・犬と一緒に避難する場所がない為”家”にいるという、お年寄りがいる。 ・家を出る方が危険である)	3
他の人とのかわりに関すること (・支援を頼むことが難しい ・近所(お隣とのコミュニケーション))	2
その他 (・災害時は、自分のこと、離れて住んでいる家族の事でせいっぱいです。 ・今、見守隊が発足したので随分よくなったが、見守隊のない場合一人で動いたりTELLしたり家の近くにおられる方はしよっちゅう気になった。 ・自分の身は自分で守るが原則でその後の支援については公的機関と一緒に！ ・災害の少ない地区なので懸念することはありません。支援に対しては、常にコミュニティを大事にしているので心配していません。)	4

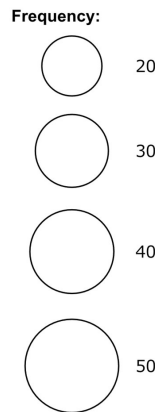
問10 そのほか、台風14号の対応に関する率直なご意見等をお寄せください。

97件の自由回答をもとに、テキストマイニングを実施。

◆ 共起ネットワーク



Subgraph:
01 03
02 04



集計単位	段落
最小出現数	12 : 20語程度で描画させるため
描画する共起関係の選択	Jaccard
描画設定	強い共起関係程濃い線に。

▼ 頻出語(上位30)

	抽出語	出現回数
1	避難	51
2	思う	33
3	地区	31
4	台風	29
5	災害	19
6	心配	16
7	区	15
8	対応	15
9	被害	15
10	市	14
11	情報	14
12	状況	14
13	対策	14
14	必要	14
15	多い	13
16	考える	12
17	地域	12
18	自分	11
19	人	11
20	電話	11
21	避難場所	11
22	放送	11
23	防災	11
24	連絡	11
25	浸水	9
26	水害	9
27	道路	9
28	良い	9
29	お願い	8
30	意識	8

問10 そのほか、台風14号の対応に関する率直なご意見等をお寄せください。

■ お住まいの地域の局地的な情報に対するニーズ

- ◆ 地域を流れる川は短いため、広域雨量より線状降水帯などの挟域集中豪雨が心配なので、延岡近郊の短時間情報が欲しい。
- ◆ 市の避難情報(事前情報も含めて)全域的に発せられるので個別地域での状況が実際にどうなのかは、その地域で過去の経験にもとづいて判断せざるを得ない。全域的な情報だけにもとづいて住民は避難はなかなかしない。そういう意味では知人や親戚など普段泊まりに行ってるような所なら気軽に早くから避難できるのではないか。

■ 被害の多さへの心配・懸念

- ◆ 古い家が多く暴風被害が心配
- ◆ 私どもの区では浸水被害(家、車)が25件あった。今回の台風を甘く見ていた家が多かった。今回の台風被害を教訓に今後の活動をしっかりやっていきたい。

■ 対策の更なる充実の要望

- ◆ 台風14号では自区は人的被害はなかったが屋根(スレート)が飛んだのは2件ほどあった。延岡市全体しては危機管理課の対応(報道等)は非常に良かったと思う。ただし次もこれで良いと安心してはダメ、想定外の台風が来るので危険予知、強制発想し、対策案をねるとよいと思う。

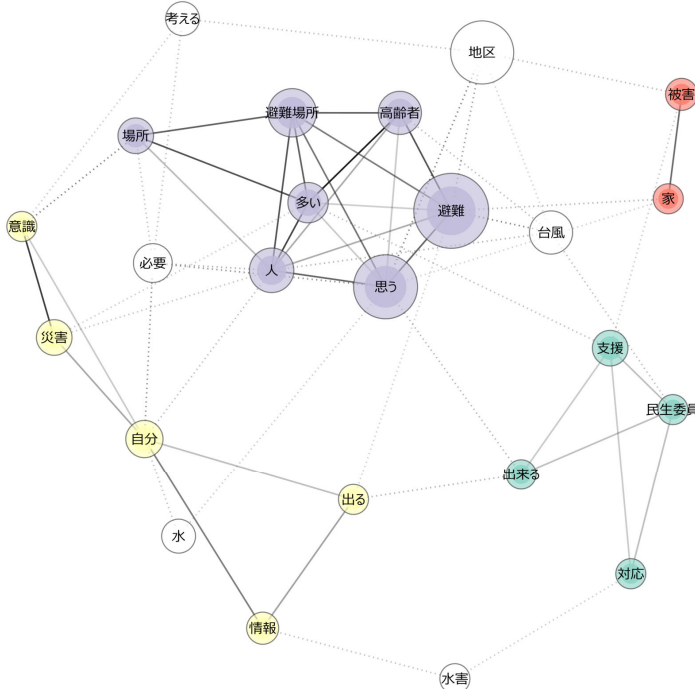
■ 市からの状況情報の提供に関する要望……この塊は類似した意見の集合ではなさそう。

- ◆ 市の避難情報(事前情報も含めて)全域的に発せられるので個別地域での状況が実際にどうなのかは、その地域で過去の経験にもとづいて判断せざるを得ない。全域的な情報だけにもとづいて住民は避難はなかなかしない。そういう意味では知人や親戚など普段泊まりに行ってるような所なら気軽に早くから避難できるのではないか。

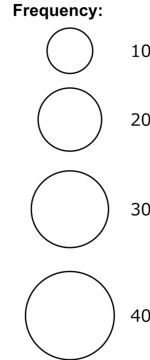
問10 そのほか、台風14号の対応に関する率直なご意見等をお寄せください。

61件の自由回答をもとに、テキストマイニングを実施。

◆ 共起ネットワーク



Subgraph:
01 03
02 04



集計単位	段落
最小出現数	7 : 20語程度で描画させるため
描画する共起関係の選択	Jaccard
描画設定	強い共起関係程濃い線に。

▼ 頻出語 (上位30)

	抽出語	出現回数
1	避難	47
2	思う	34
3	地区	33
4	避難場所	19
5	人	16
6	高齢者	15
7	台風	15
8	多い	13
9	必要	12
10	自分	11
11	災害	10
12	支援	10
13	場所	10
14	考える	9
15	水	9
16	情報	8
17	被害	8
18	意識	7
19	家	7
20	出る	7
21	出来る	7
22	水害	7
23	対応	7
24	民生委員	7
25	テレビ	6
26	確認	6
27	区長	6
28	行政	6
29	状況	6
30		

問10 そのほか、台風14号の対応に関する率直なご意見等をお寄せください。

■ 「高齢者の避難」や「避難場所」に関する課題

- ◆ 担当している地域では高齢者が多く支援できる人材が足りません。また自身の居住している場所が低い地で支援しなくても支援できません。
- ◆ 避難場所に行けない高齢者の方をどうするかです。電話で指定場所は教えましたが、じっとしてる人が多かったと思います。

■ 民生委員による支援対応できることの厳しさ・大変さ

- ◆ 避難対象者は多数なのに民生委員は一人では対応できない。民生委員が高齢者であり過度の期待をされても困る。
- ◆ 台風14号は夜間でした。自分自身の安全が一番だと思ひ外に見に行く事をしなかった。朝、外に出て水が富美山全体に広がっているのにびっくりしたが何もできなかった。今回の様な水が出ると避難者との連絡は取れない水が引くのを待つしかなかった。計画が出来てもだれがだれを避難させるか夜間雨の中行動はとれません。民生委員は1人です。要避難者は何人もいます。どうすれば良いのでしょうか？

■ 洪水・土砂災害災害に対する防災意識の希薄

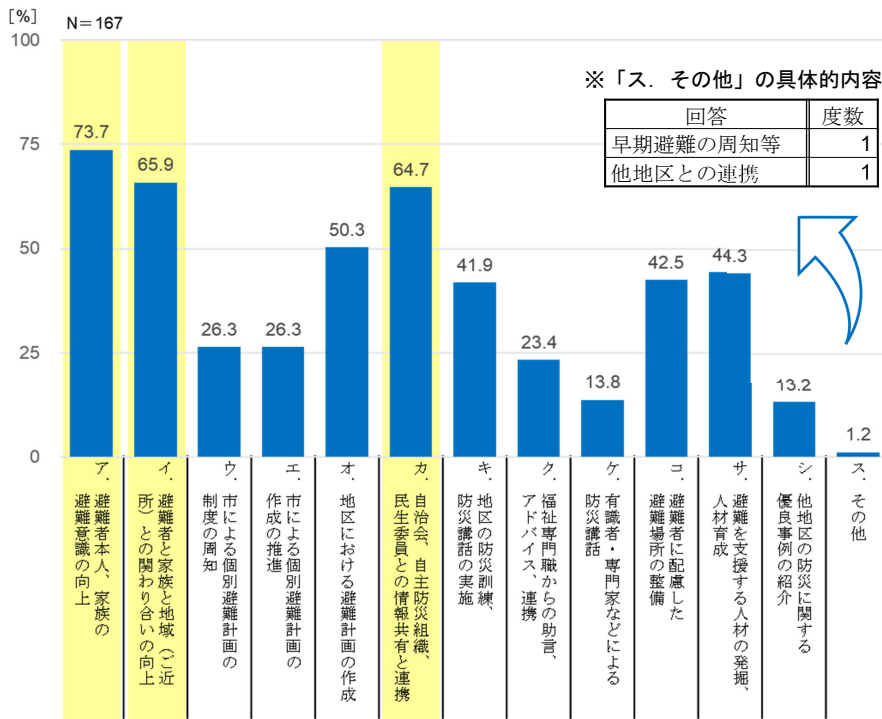
- ◆ 自分の住む小範囲の場所では災害(水害)の発生の可能性は低いと考えている住民が多い。我々住民の意識の変革が必要(具体的方法論が見つからない)但し津波に対してはその意識は高い。

■ 住宅被害を中心とした意見……この塊は類似した意見の集合ではなさそう。

- ◆ 高齢の方が多く足や体が不調であるからあらかじめのり部分がある。日頃の研修で得た1人1人のことを文書(広報)で教えているがわかっておられるか疑問です。避難訓練も高齢者のみになるし、どれくらい日中に若い方(体を使って下さる方)がどれほど家におられるかわからない。まず、被害をうけている時に家において動いて下さるのかわからない(仕事のうごかされているがいらつしやるから)
- ◆ 今回は報道が早くて助かりました。当地区での被害は少なかったと思います。一人暮らしの高齢者も今回避難したとは聞いておりません。実際には避難すべきだと思いますが(一人では行動しづらい)家にいた方が安全だと思ひがち(災害に対する意識が低い)など！

問9

今後、避難行動要支援者の避難・避難支援が円滑に進むために必要と思われることについて、お聞かせください。(当てはまるもの全てに○)



・ 比較的回答率が高い項目

①「避難者本人、家族の避難意識の向上」

:自分たち(民生委員児童委員)や、外部のチカラよりも、自助意識の必要性・重要性を強く感じていることが推察される。

②「自治会、自主防災組織、民生委員との情報共有と連携」

:自助意識の向上も必要と思っているが、共助体制を整えることについての必要性も強く感じていることが推察される。

:問6で「平時から情報共有できている」は半数で、裏を返せば、半数は「平時からの情報共有はできていない」。その状況もあり、情報共有・連携の必要性を強く感じていると考えられる。

③「避難者と家族と地域(ご近所)との関わり合いの向上」

:関わり合い、コミュニケーションを図り続けることで、上記①②の改善も期待できるため、この選択肢にも回答が集まったと推察される。